

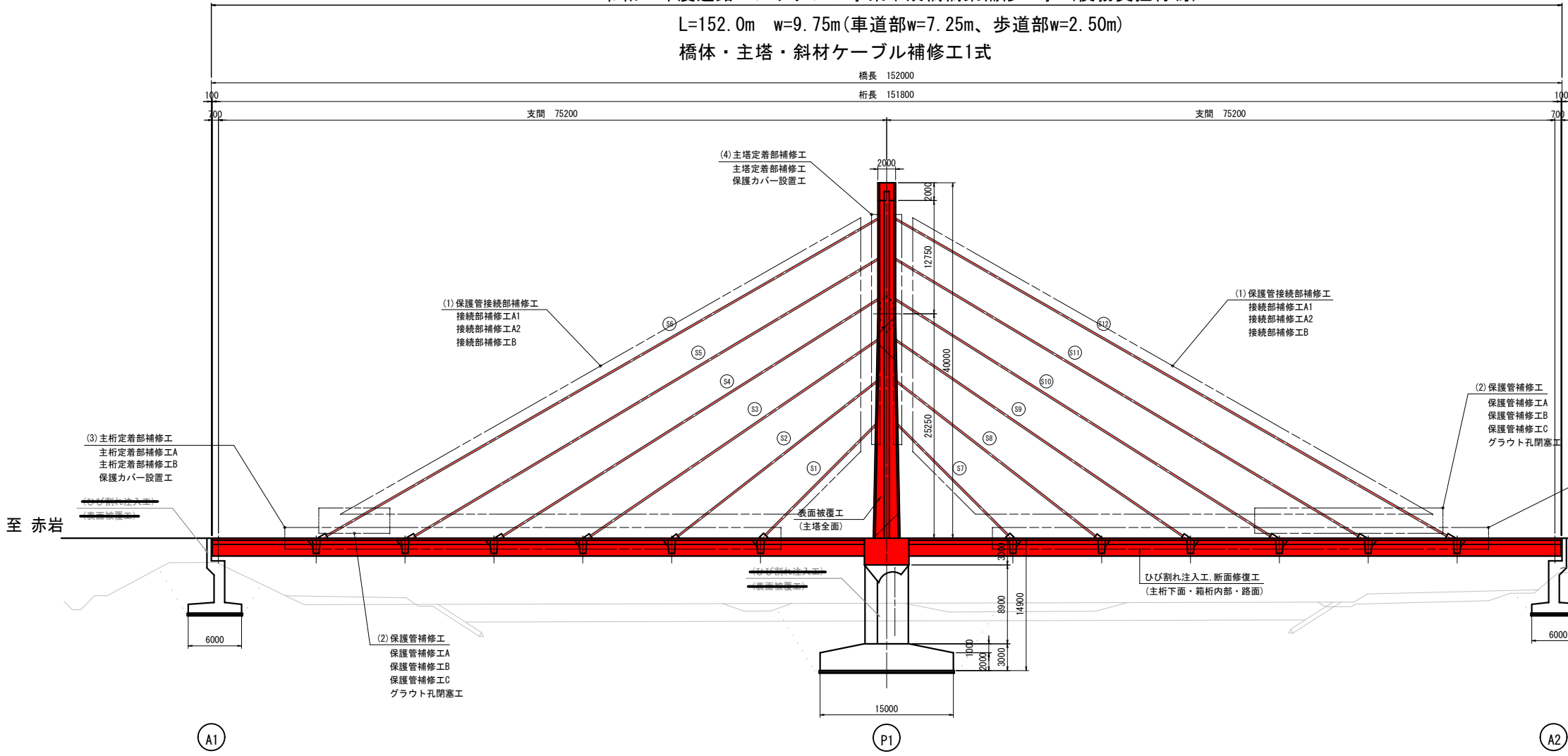
補修全体一般図(1)

側面図 S=1:300

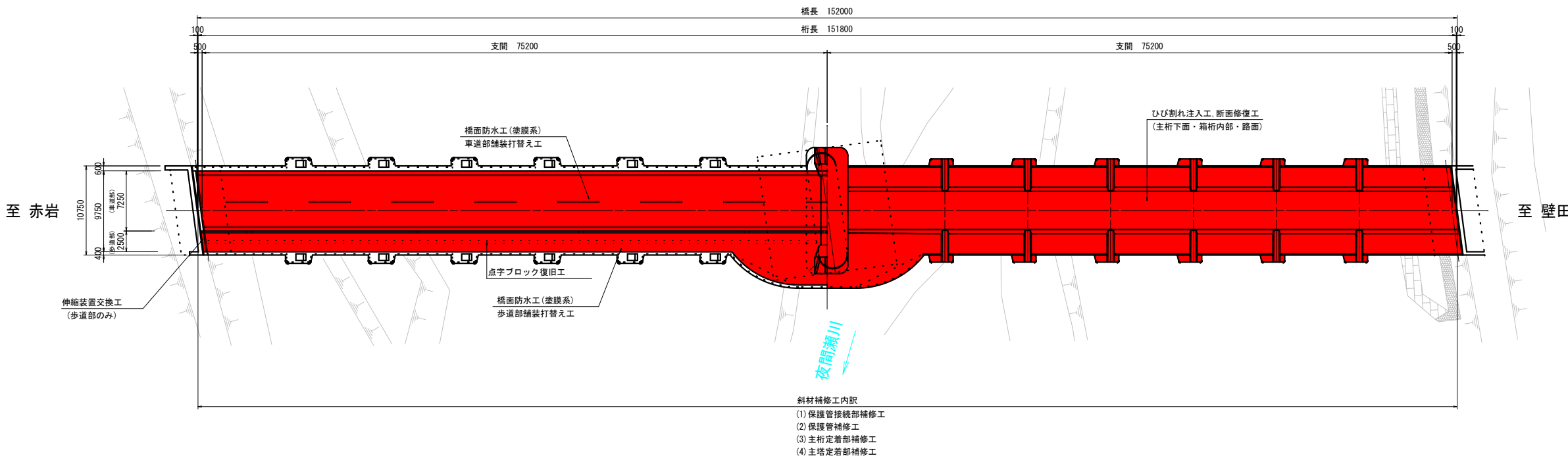
令和7年度道路メンテナンス事業平成橋橋梁補修工事（債務負担行為）

L=152.0m w=9.75m(車道部w=7.25m、歩道部w=2.50m)

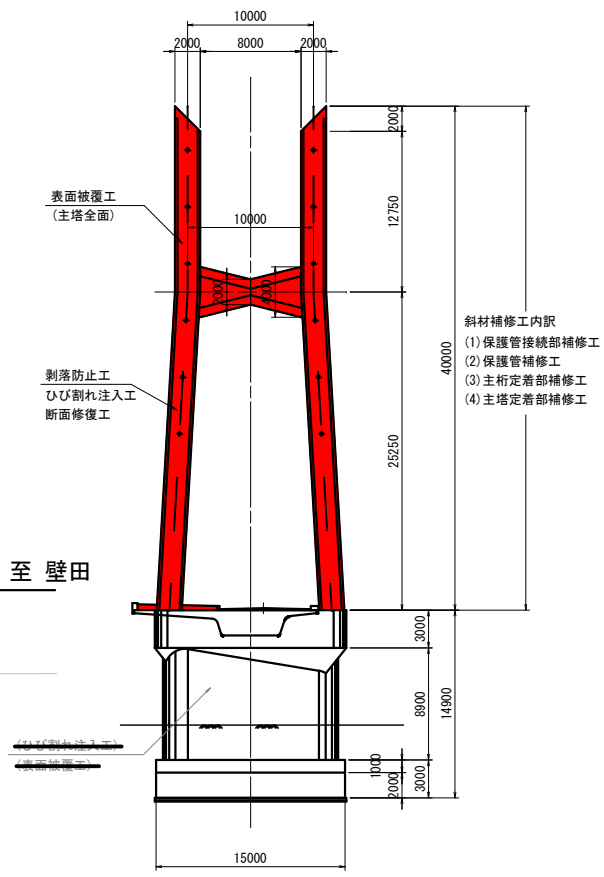
橋体・主塔・斜材ケーブル補修工1式



平面図 S=1:300



正面図 S=1:200



注1) 下部工の補修工()内は将来施工とする。
注2) 補修項目は現地で施工前に調査・測量を行い再設定すること。

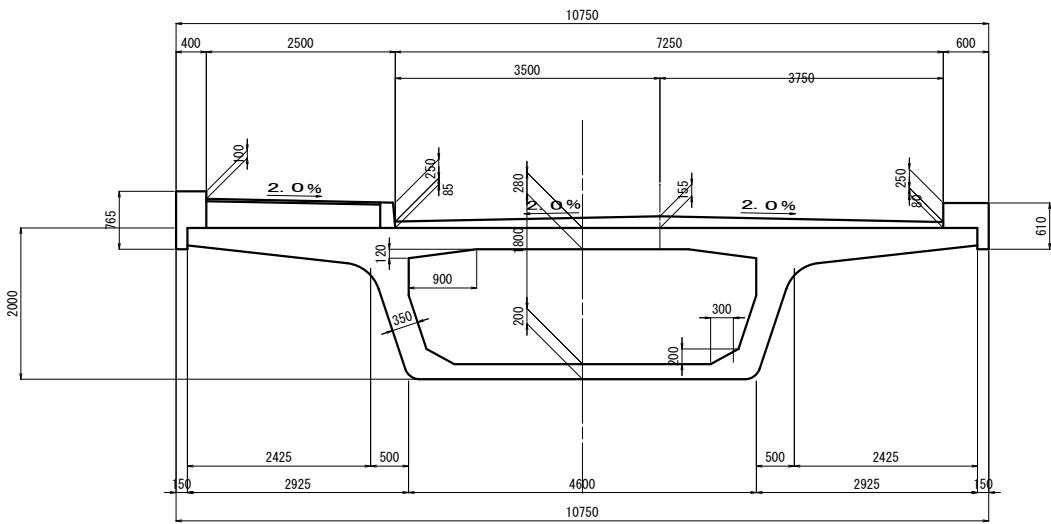
実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事（債務負担行為）			
番号	1 / 28	橋梁全体一般図(1)	縮尺 図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

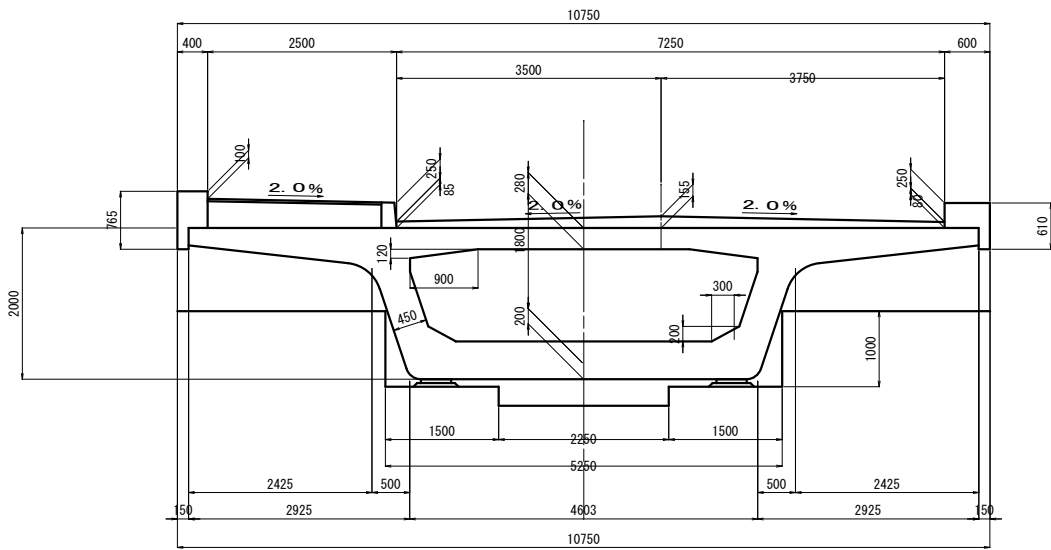
補修全体一般図(2)

主桁断面図 S=1:50

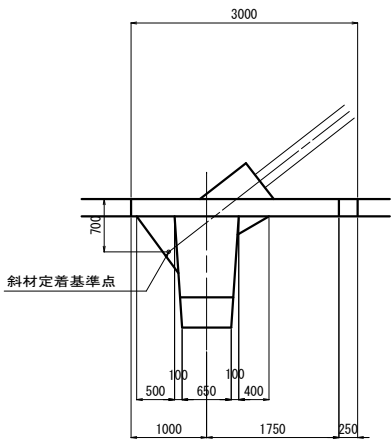
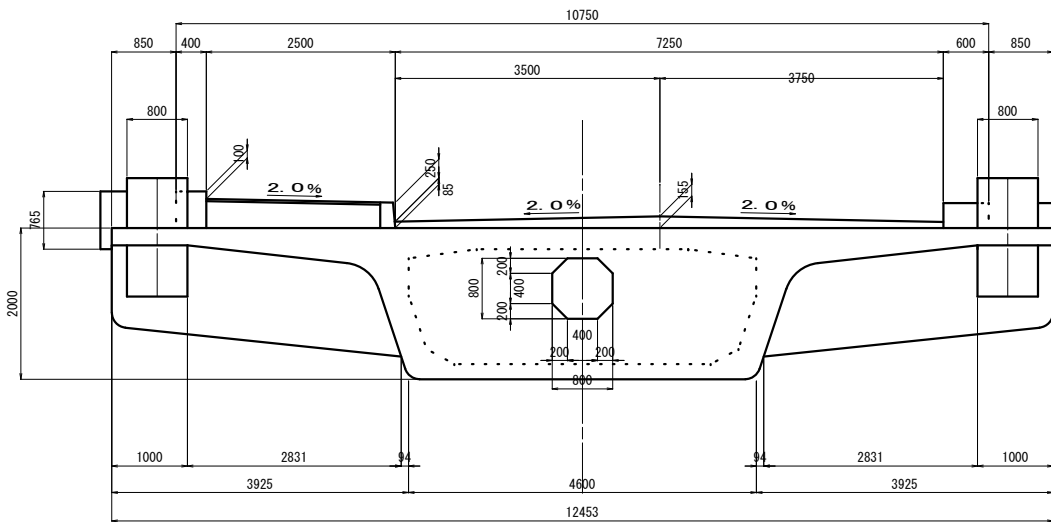
標準部



支点部

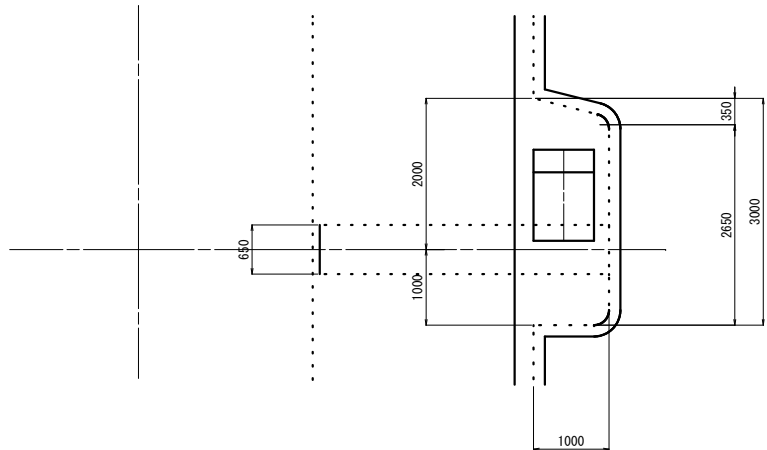
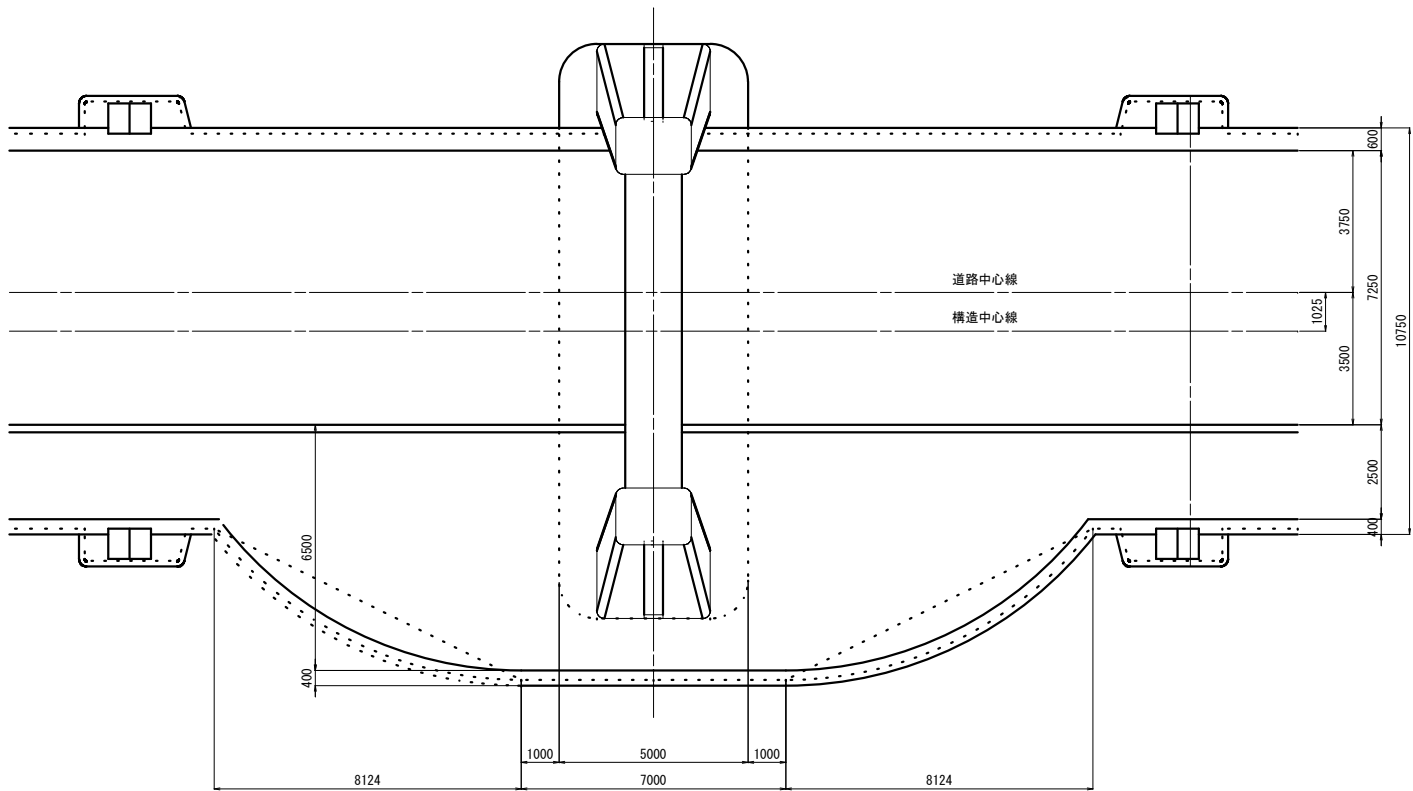


斜材定着位置



橋脚バルコニー平面図

S=1:100



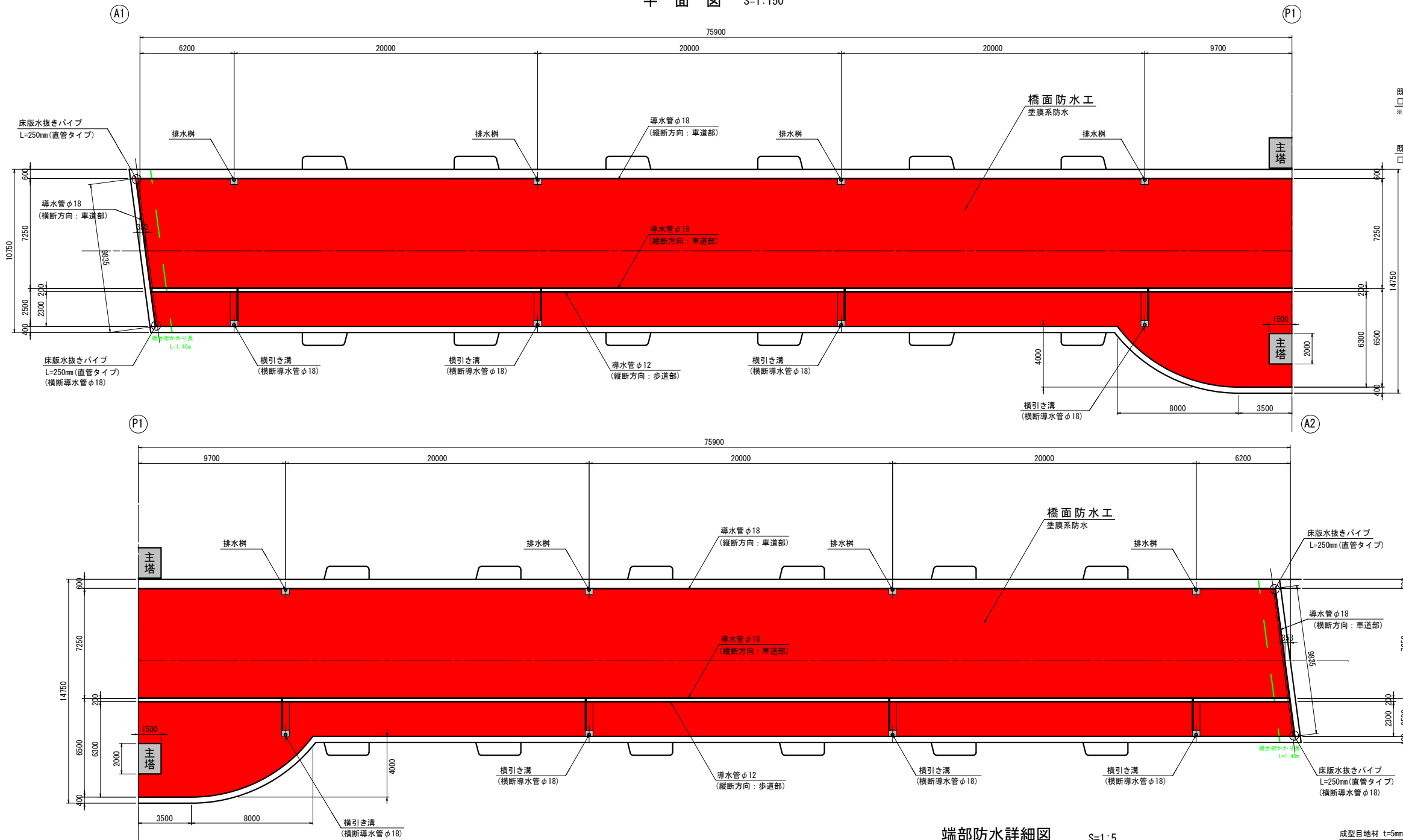
実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業 平成橋梁架補修工事（債務負担行為）			
番号	2 / 28	橋梁全体一般図(2)	縮尺 図示
市道赤岩壁田線 中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

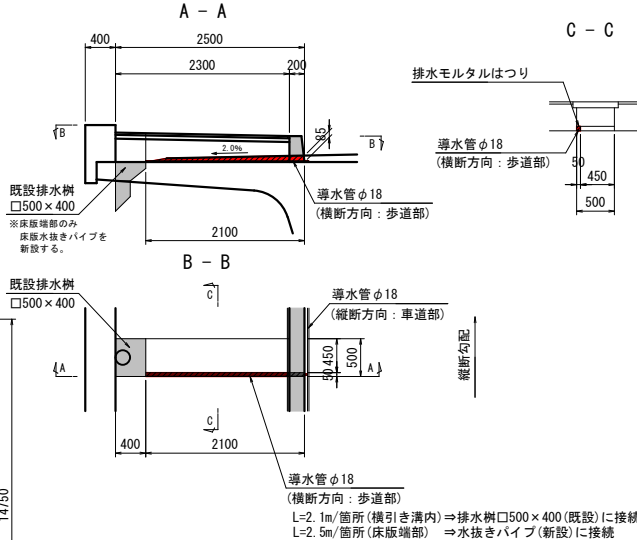
橋面補修工詳細図(1)

橋面防水工

平面図 S=1:150



横引き溝詳細図 S=1:50



橋面防水工 材料表【車道部】

品名	規格	単位	数量	備考
橋面防水	塗膜系	m ²	1093.8	(アスファルト加型)
排水用導水管φ18		m	316.8	(1'1/4'-1型同等品)
成型目地材(t=5mm)	B=40mm	m	302.2	
端部処理材	B=100mm	m	302.2	
床版水抜きパイプ(直管タイプ)	L=250mm	箇所	2	※床版端部のみ
フレキシブルチューブ	φ25(片ナット)	m	6.0	(上流側)

※フレキシブルチューブ: L=3.0(m/箇所)×2箇所(床版端部)=6.0m

橋面防水工 材料表【歩道部】

品名	規格	単位	数量	備考
橋面防水	塗膜系	m ²	412.6	(アスファルト加型)
排水用導水管φ12		m	151.1	(1'1/4'-1型同等品)
成型目地材(t=5mm)	B=10mm	m	151.1	
端部処理材	B=20mm	m	151.1	
床版水抜きパイプ(直管タイプ)	L=250mm	箇所	2	※床版端部のみ
フレキシブルチューブ	φ25(片ナット)	m	6.0	(下流側)

※フレキシブルチューブ: L=3.0(m/箇所)×2箇所(床版端部)=6.0m

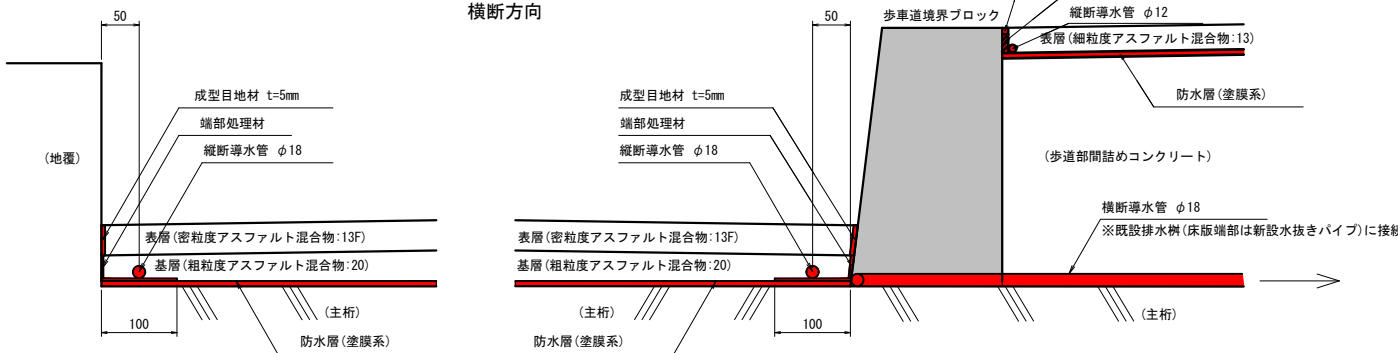
橋面防水工 材料表【歩道部; 横断導水管】

品名	規格	単位	数量	備考
排水用導水管φ18		m	21.8	(1'1/4'-1型同等品)

※導水管φ18: L=2.5(m/箇所)×2箇所(床版端部)+2.1(m/箇所)×8箇所(横引き溝内)=21.8m

端部防水詳細図

S=1:5



注1) 既設舗装撤去後に床版の損傷具合を調査して、断面修復が必要な箇所があれば数量を計上し、補修する。

注2) 防水層は塗膜防水とし、ネクスコ仕様グレードⅠを用いる。

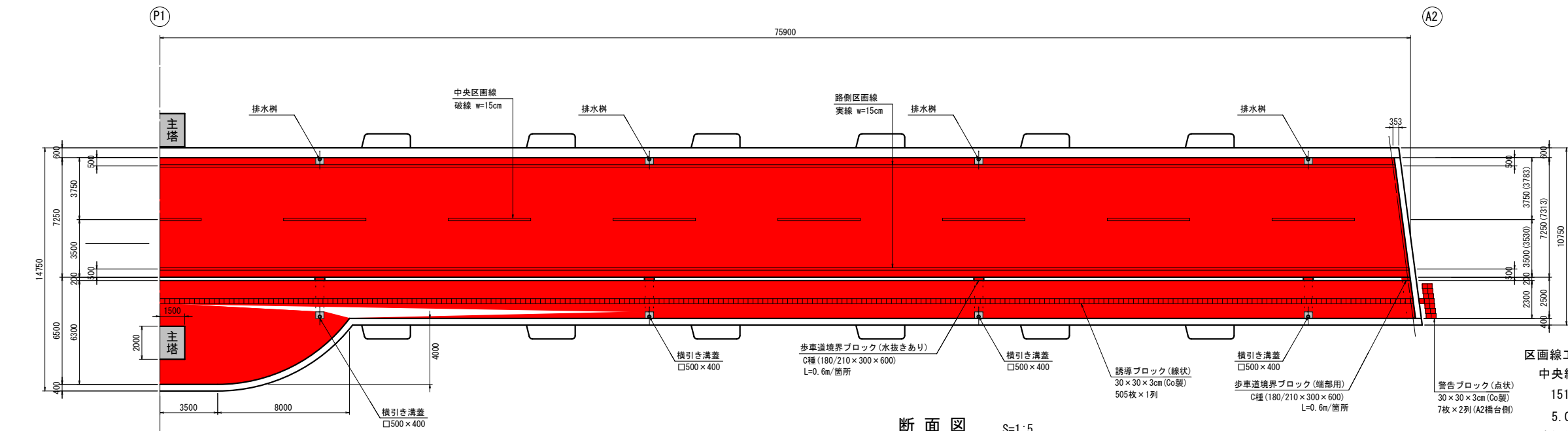
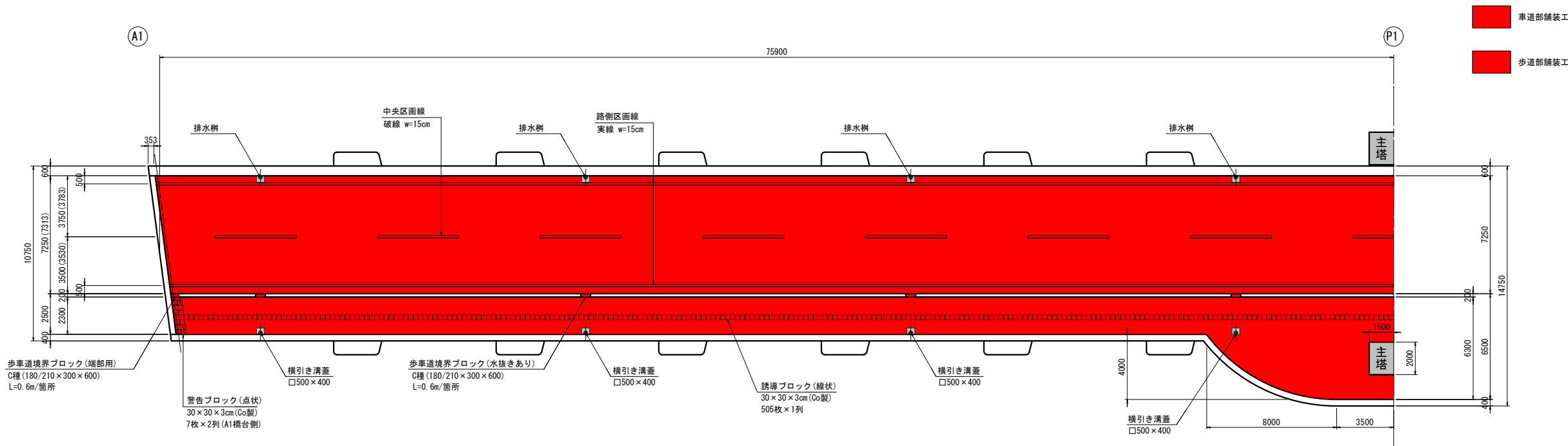
実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業 平成橋梁補修工事(債務負担行為)	橋面補修工詳細図(1) (橋面防水工)	縮尺 図示
市道赤岩壁田線 中野市大字赤岩・笠原 平成橋		
設計会社		
測量会社		
調査会社		
中野市役所		

橋面補修工詳細図(2)

舗装打換え工

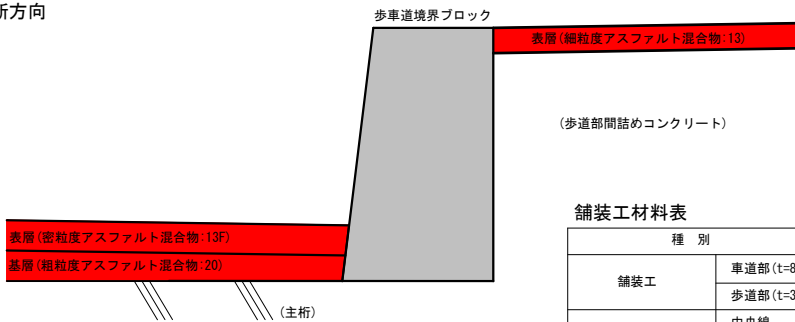
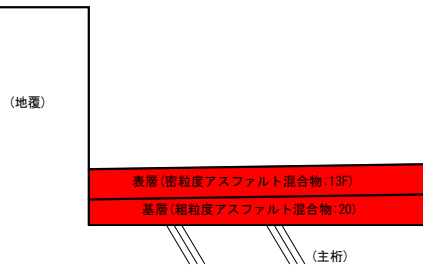
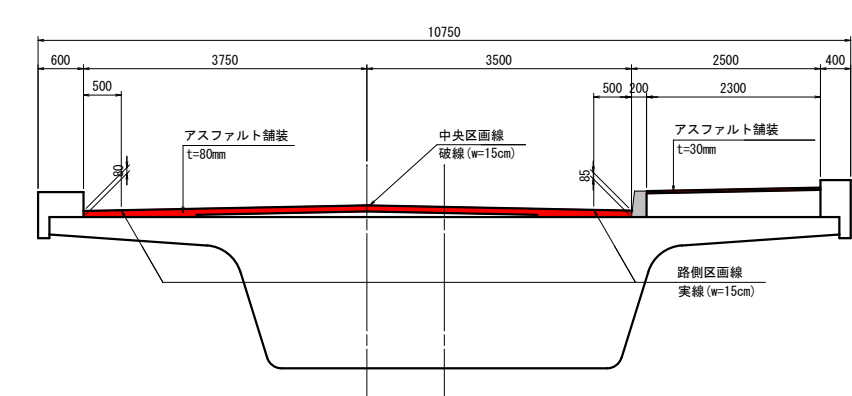
平面図 S=1:150



断面図 S=1:50

断面図 S=1:5

横断方向



舗装工材料表

種別	単位	数量	備考
舗装工	車道部(t=80mm)	m ²	1093.8
	歩道部(t=30mm)	"	412.6
区画線工	中央線	m	75.0
	路側線	"	302.2
特殊ブロック舗装(点字ブロック)	警告ブロック(点状)	枚	28
	誘導ブロック(線状)	枚	505
緑石工	C種(180/210×300×600)	m	6.0

※緑石工: L=0.6(m/個)×(2箇所(床版端部)+8箇所(横引き溝))=6.0m

区画線工数量内訳

中央線
151.8m/10m ≒ 15本 ※10m間隔に設置(破線1本当り5.0m)
5.0m×15本 = 75.0m

路側線
{151.8m-0.353m(伸縮装置制御)*2}*2(上下流) = 302.2m

特殊ブロック舗装数量内訳

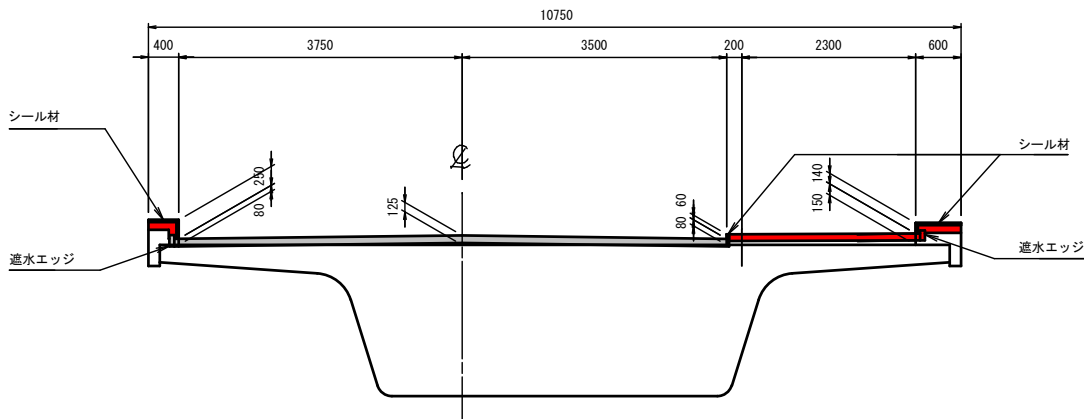
警告ブロック(点状): 30×30×3cm
(7枚×2列)×2箇所(A1橋台・A2橋台) = 28枚
誘導ブロック(線状): 30×30×3cm
(151.8m-0.3m×2列[A1橋台:警告])/0.3m+1枚(A2橋台) = 505枚

実施図

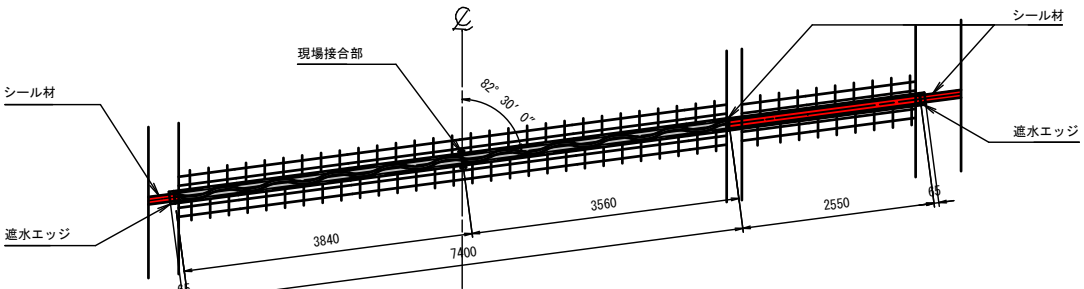
令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁補修工事(債務負担行為)			
番号	4 / 28	橋梁補修工事図面(2) (舗装打ち換え工)	縮尺 図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

伸縮装置工詳細図

断面図 S = 1:50

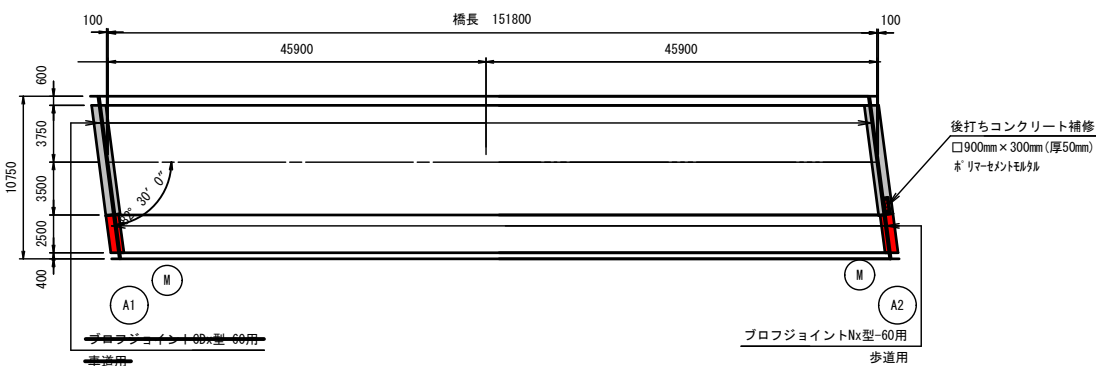


平面図 S = 1:50

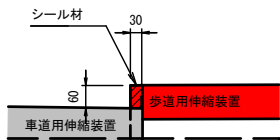


※現場接合部は、バックキに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

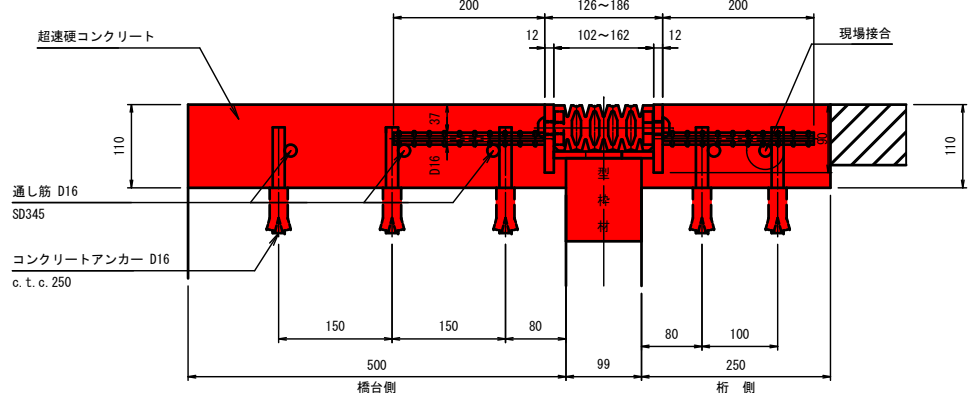
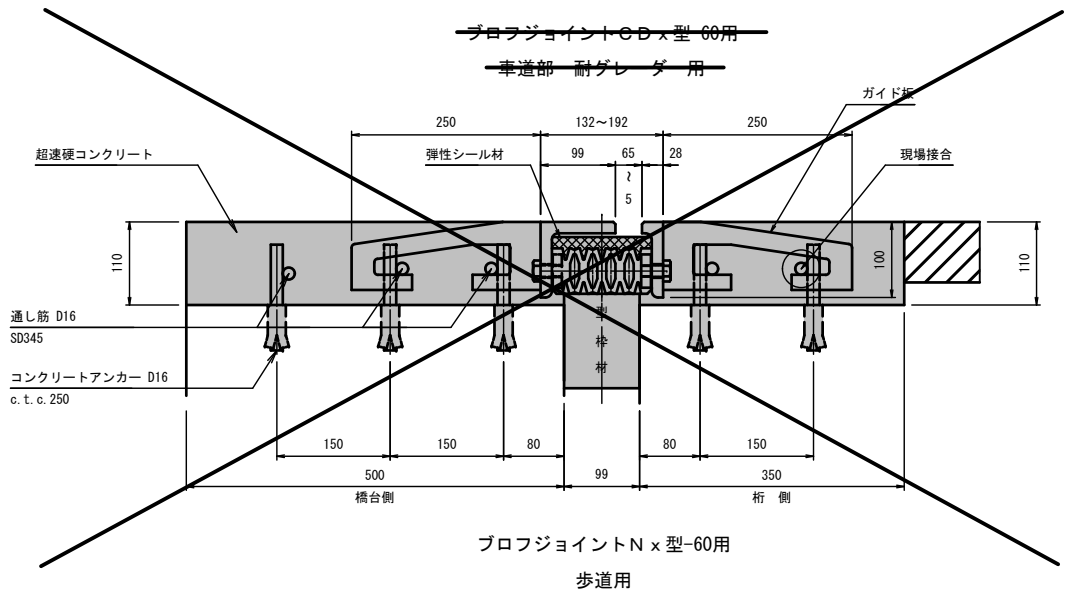
配置図 S = 1:250



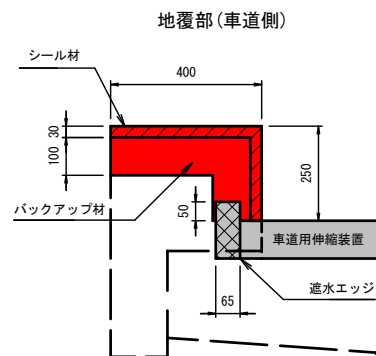
車歩道境界部



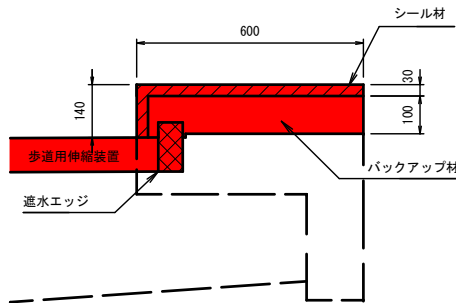
伸縮装置断面図 S = 1:5



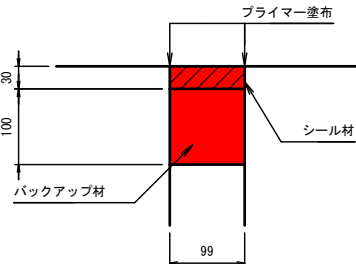
端部詳細図 S = 1:10



地覆部(歩道側)



シール材充填図 S = 1:5

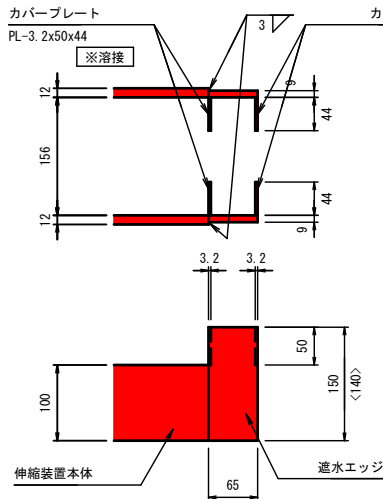


伸縮装置材料表

名 称	材 質	A 1 数量	A 2 数量	合計数量	備 考
プロフジョイントCD型-60用	SD345	7.488 m	7.488 m	14.976 m	耐ダレダ用
プロフジョイントN型-60用	SD345	2.550 m	2.550 m	5.100 m	歩道用
遮水エッジ	SD345	1 組	1 組	2 組	60用
シール材	シリコン系	4.63 リットル	4.63 リットル	9.26 リットル	※車道部を含む
超速硬コンクリート		0.902 m3	0.902 m3	1.804 m3	※車道部を含む
コンクリートアンカー D16		20 本	20 本	40 本	歩道・橋台側
通し筋	SD345 D16	12.750 m	12.750 m	25.500 m	歩道
N x 型用接着剤		1 式	1 式	2 式	60用

※材料寸法は、現場実測後に決定すること。

遮水エッジ S = 1:5



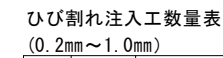
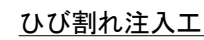
※< >内寸法は歩道用を示す。

注) 施工前に現地寸法を確認して、形状寸法を決定して工場製作すること。

実施図

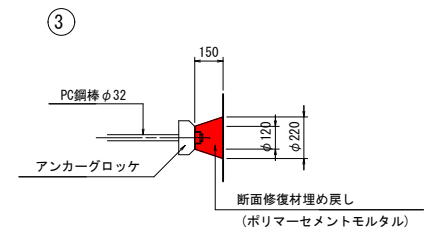
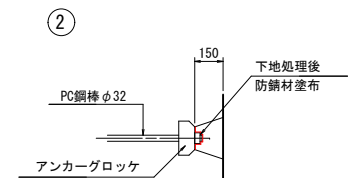
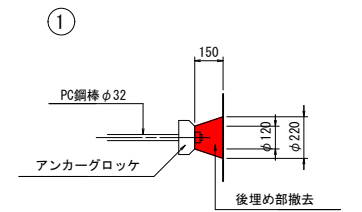
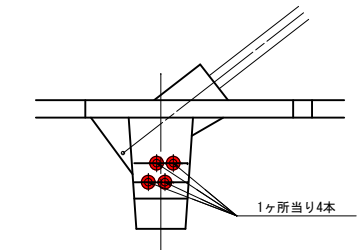
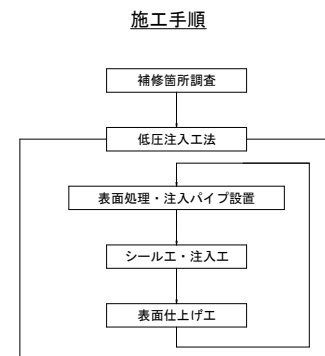
令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁補修工事（債務負担行為）			
番号	5 / 28	伸縮装置工詳細図	縮尺 図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

主桁下面 S=1:150



番号	長さ (m)	ひび割れ幅 (mm)	適用
①	0.50	0.25	
②	0.40	0.25	
③	0.40	0.25	
④	0.90	0.30	
⑤	0.60	0.30	
⑥	0.45	0.20	
⑦	0.70	0.20	
⑧	0.60	0.30	
⑨	0.40	0.25	
⑩	0.70	0.20	
⑪	0.70	0.30	
⑫	0.60	0.30	
合計	6.95		

ひび割れ注入施工フロー



番号	PC鋼棒 (本/箇所)	1本当り修復体積 (m ³ /本)	修復体積 (m ³)
△1	4	0.00350	0.0140
合計			0.0140

〈撤去・復旧体積〉 ※PC銅棒1本(片方)当り。

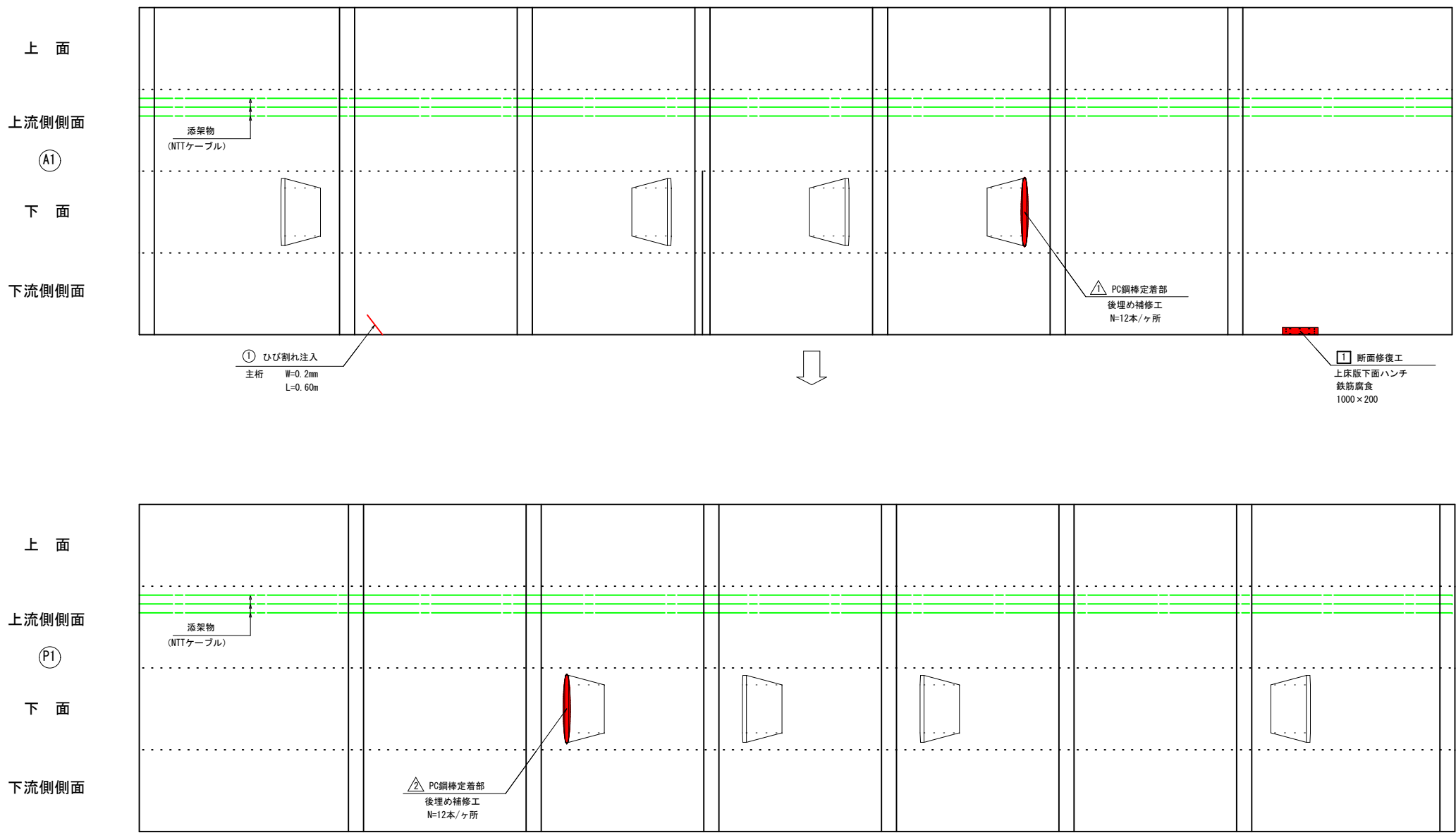
$$V=0.150 \times \pi \times (0.060^2 + 0.060 \times 0.110 + 0.110^2) / 3 = 0.00350 \text{m}^3$$

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成成績優良修繕工事（債務負担行為）			
番号	6 / 28	床板修繕工事組組（1） （主観下書き）	図 尺 S=1:150
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩、笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

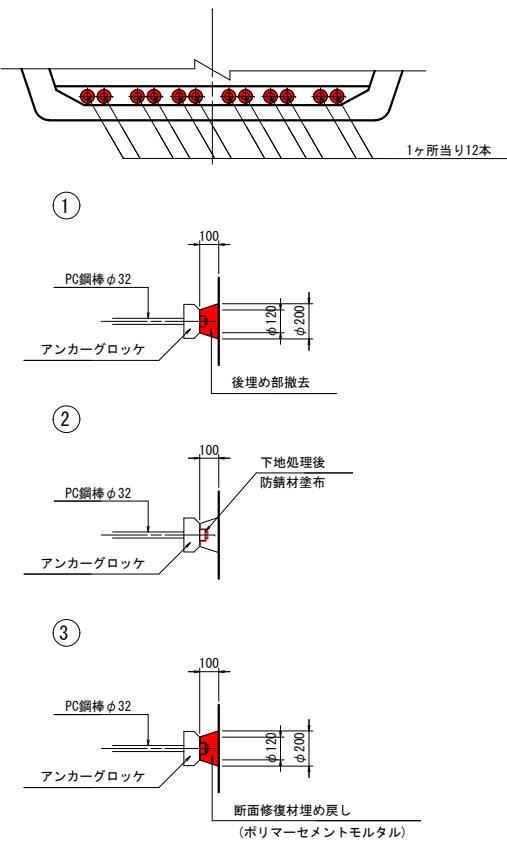
床版補修工詳細図(2)

箱桁内部

S=1:150



PC鋼棒定着部後埋め補修工



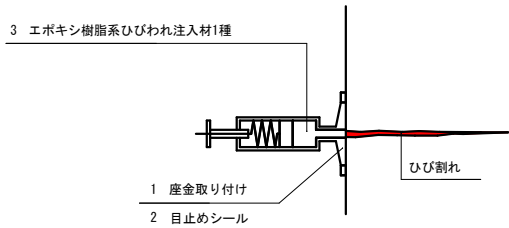
PC鋼棒定着部補修数量表

番号	PC鋼棒 (本/箇所)	1本当り修復体積 (m3/本)	修復体積 (m3)
①	12	0.00205	0.0246
②	12	0.00205	0.0246
合計			0.0492

〈撤去・復旧体積〉 ※PC鋼棒1本当り。

$V=0.100 \times \pi \times (0.060^2 + 0.060 \times 0.100 + 0.100^2) / 3 = 0.00205m^3$

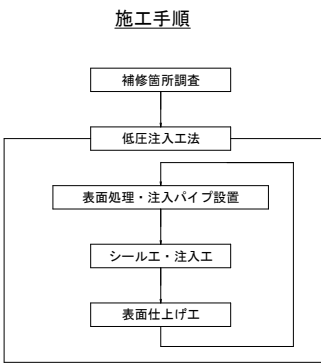
ひび割れ注入工



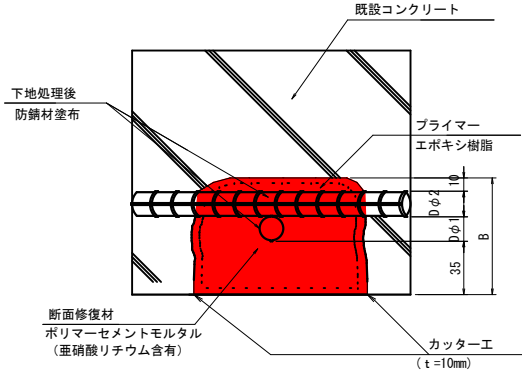
ひび割れ注入工数量表
(0.2mm~1.0mm)

番号	長さ (m)	ひび割れ幅 (mm)	適用
①	0.60	0.20	
合計	0.60		

ひび割れ注入施工フロー



断面修復工



断面補修工一覧
(防錆処理有り)

番号	算式 (mm)	修復面積 (m2)	D φ1 (mm)	D φ2 (mm)	B:修復深さ (mm)	修復体積 (m3)	適用
①	1000 × 200	0.2000	13	16	74	0.0148	
合計						0.0148	

注1) ひびわれ注入材は「構造物施工管理要領 保全編(NEXCO東・中・西日本)」よりエポキシ樹脂系ひびわれ注入材1種を使用する。

注2) 各工法の数量は現地で再測して寸法・形状を確認して施工数量を決定すること。

注3) 遊離石灰の滲出状況等を考慮して、必要に応じてP Cグラウトの充填状況を調査すること。

実 施 図

令和7年度 道路メンテナンス事業
平成橋梁補修工事(橋梁負担行為)

番号 7/28 床版補修工詳細図(2)
(箱桁内部) 縮尺 S=1:150

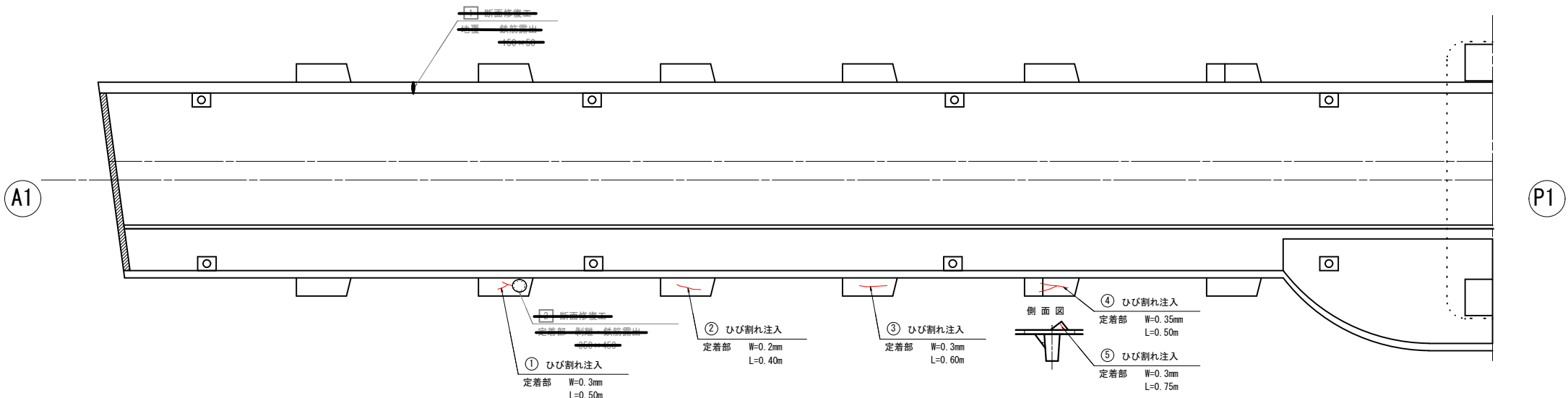
市道赤岩壁田線
中野市大字赤岩・笠原 平成橋

設計会社
測量会社
調査会社

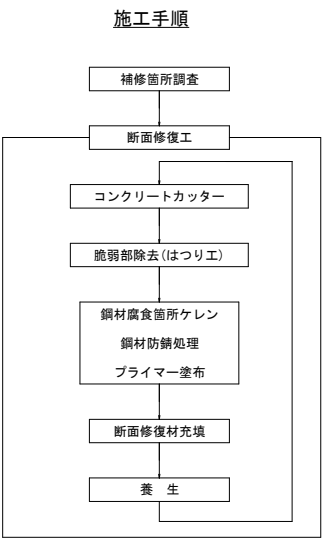
中野市役所

床版補修工詳細図(3)

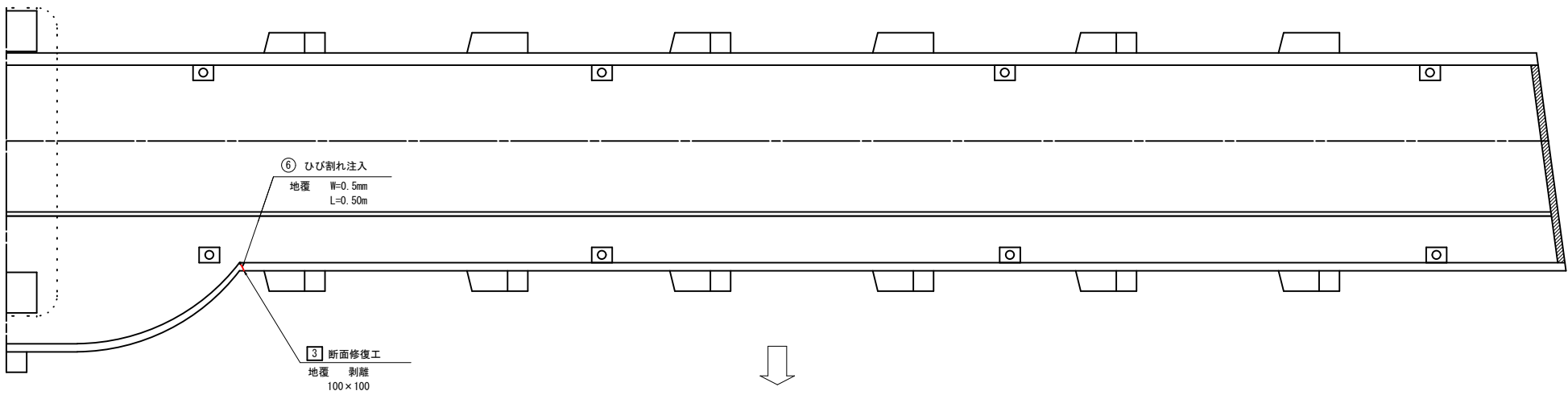
路面 S=1:150



断面修復施工フロー

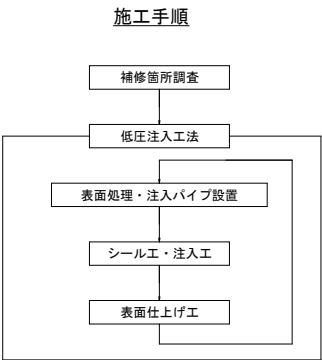


P1

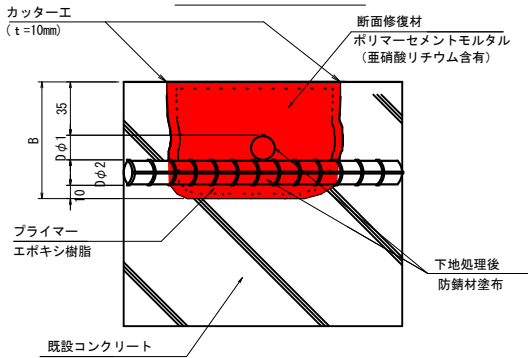


A2

ひび割れ注入施工フロー



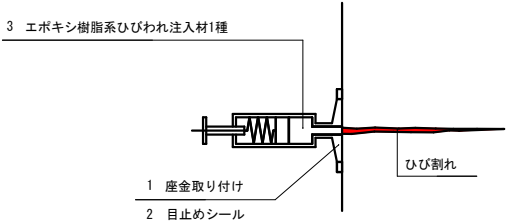
断面修復工



断面補修工一覧
(防錆処理有り)

番号	算式 (mm)	修復面積 (m2)	D φ1 (mm)	D φ2 (mm)	B:修復深さ (mm)	修復体積 (m3)	適用
[3]	100 × 100	0.0100	13	13	71	0.0007	
合計						0.0007	

ひび割れ注入工



ひび割れ注入工数量表
(0.2mm~1.0mm)

番号	長さ (m)	ひび割れ幅 (mm)	適用
①	0.50	0.30	
②	0.40	0.20	
③	0.60	0.30	
④	0.50	0.35	
⑤	0.75	0.30	
⑥	0.50	0.50	
合計	3.25		

- 注1) 舗装表面のひびわれは舗装オーバーレイにより対応する。
注2) 舗装切削後路面の損傷状況を確認して断面修復が必要な箇所は補修後、舗装を行う。
注3) 各工法の数量は現地で再測して寸法・形状を確認して施工数量を決定すること。

実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁補修工事（債務負担行為）			
番号	8 / 28	床版修理工詳細図(3) (路面)	縮尺 S=1:150
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

主塔補修工詳細図(1)

S=1:200

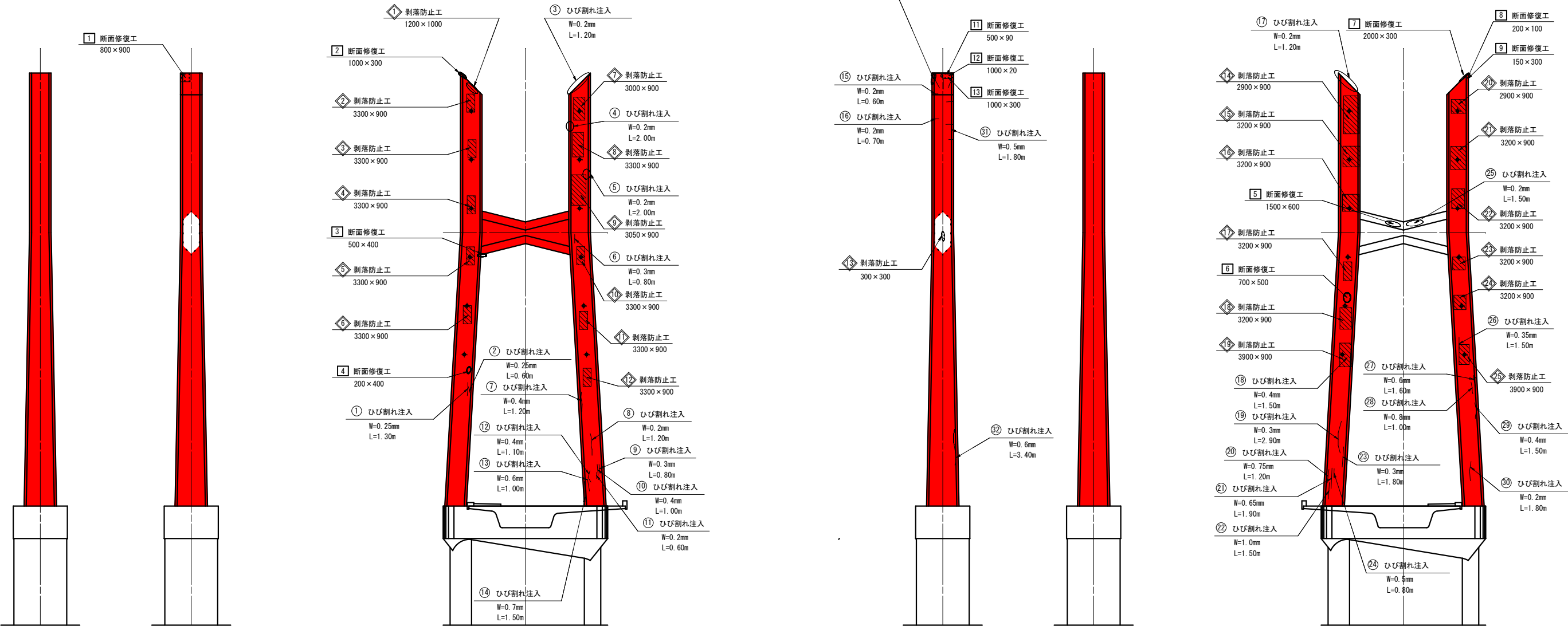
上流側

下流側

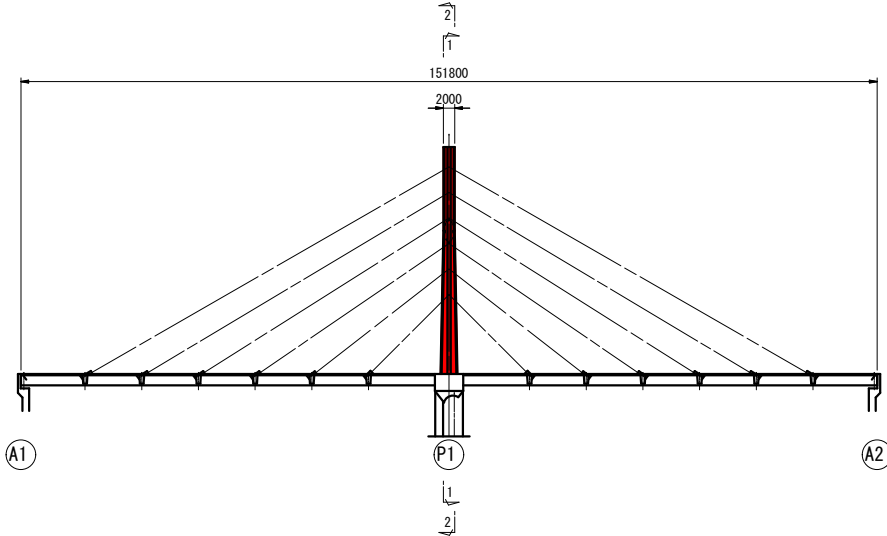
終点側

1 - 1

2 - 2



位置図



- 表面被覆工
- ひび割れ注入
- 断面修復工
- 剝落防止工

- 注1) ひびわれ注入材は「構造物施工管理要領 保全編(NEXCO東・中・西日本)」よりエポキシ樹脂系ひびわれ注入材1種を使用する。
- 注2) 断面修復材は「構造物施工管理要領 保全編(NEXCO東・中・西日本)」による性能照査項目を満足すること。
- 注3) 表面被覆材は「構造物施工管理要領 保全編(NEXCO東・中・西日本)」による性能照査項目を満足すること。
- 注4) 剝落防止工の要求性能・性能照査方法は「構造物施工管理要領 保全編(NEXCO東・中・西日本)」の規定を満足すること。
- 注5) 各工法の数量は現地で再測して寸法・形状を確認して施工数量を決定すること。

実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業				
平成橋梁補修工事（債務負担行為）				
番号	9/28	主塔補修工	詳細図(1)	縮尺 S=1:200
市道赤岩壁田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

主塔補修工詳細図(2)

表面被覆工

主塔部

{ (9.824m+7.824m) / 2 * 25.25m + 7.824m * 13.75m + 5.609m2 (主塔頂部) - 4.914m2 (横梁付根控除) + 0.50m * 0.10m (凹部頂部) } * 2 (上下流) = 662.262m2

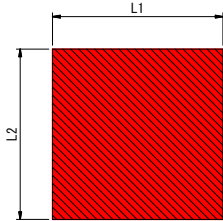
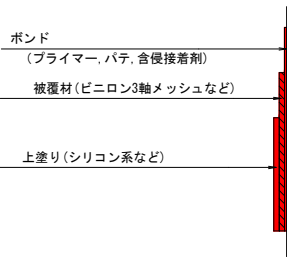
横梁部

{ (9.244m+5.244m) / 2 * 4.00m + (4.650m+4.622m) / 2 * 0.117m (端部) } * 2 (上下流) = 59.037m2

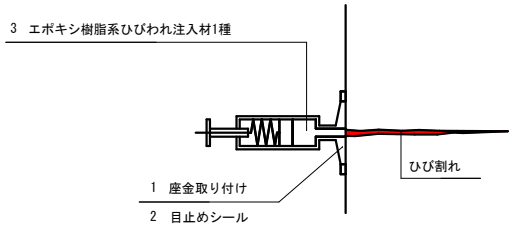
合計：

Σ A = 662.3m2 + 59.0m2 = 721.3m2

剥落防止工



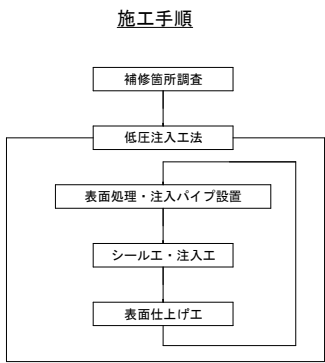
ひび割れ注入工



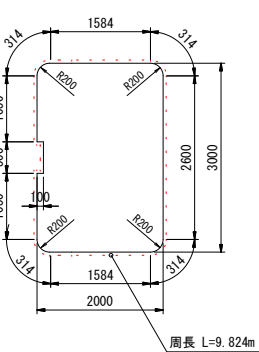
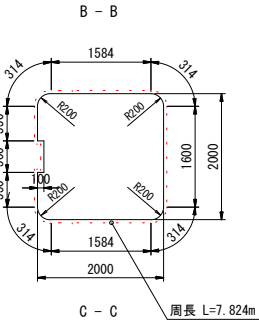
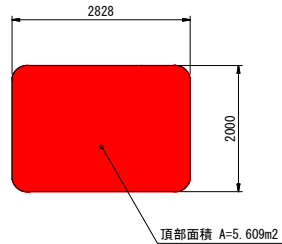
ひび割れ注入工数量表
(0.2mm ~ 1.0mm)

番号	長さ (m)	ひび割れ幅 (mm)	適用
1	1.30	0.25	
2	0.60	0.25	
3	1.20	0.20	
4	2.00	0.20	
5	2.00	0.20	
6	0.80	0.30	
7	1.20	0.40	
8	1.20	0.20	
9	0.80	0.30	
10	1.00	0.40	
11	0.60	0.20	
12	1.10	0.40	
13	1.00	0.60	
14	1.50	0.70	
15	0.60	0.20	
16	0.70	0.20	
17	1.20	0.20	
18	1.50	0.40	
19	2.90	0.30	
20	1.20	0.75	
21	1.90	0.65	
22	1.50	1.00	
23	1.80	0.30	
24	0.80	0.50	
25	1.50	0.20	
26	1.50	0.35	
27	1.60	0.60	
28	1.00	0.80	
29	1.50	0.40	
30	1.80	0.20	
31	1.80	0.50	
32	3.40	0.60	
合計	44.50		

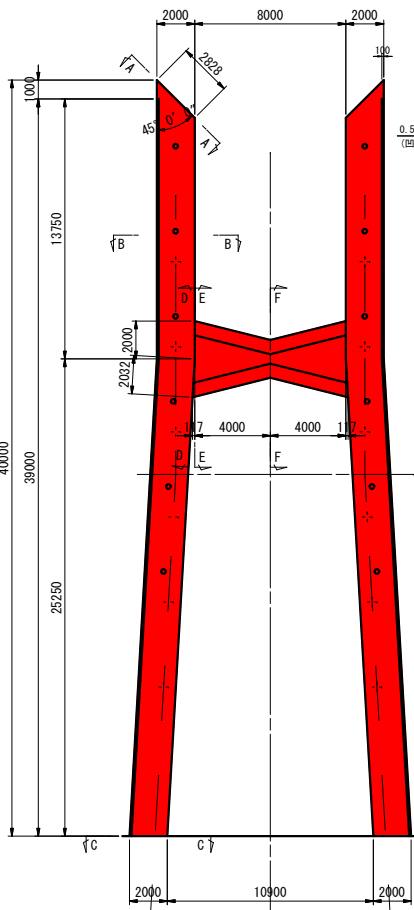
ひび割れ注入施工フロー



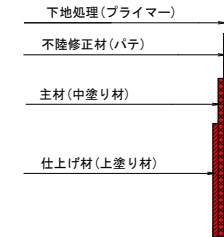
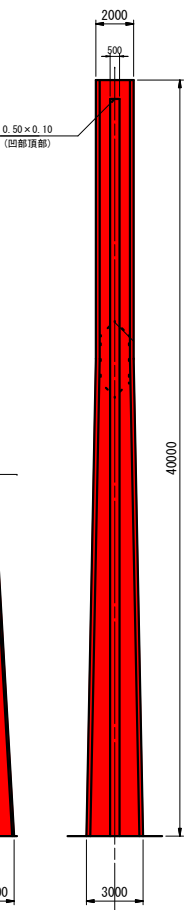
平面図 S=1:60
A-A



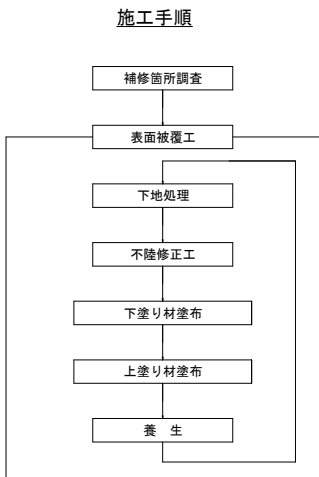
正面図 S=1:200



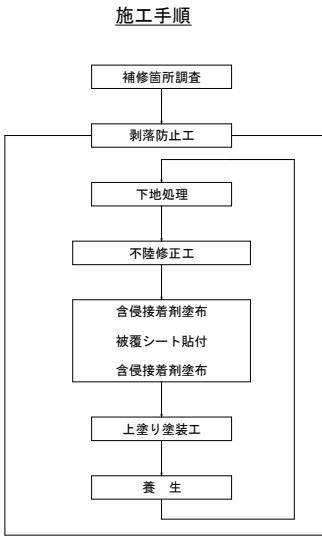
側面図 S=1:200



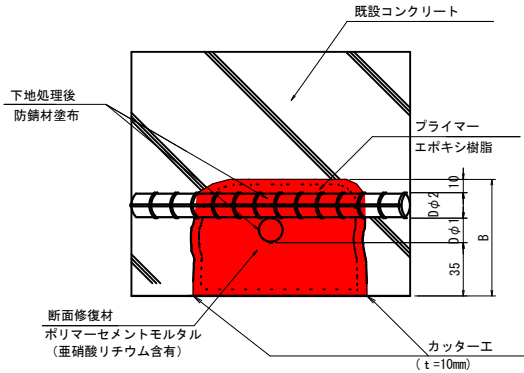
表面被覆施工フロー



剥落防止施工フロー



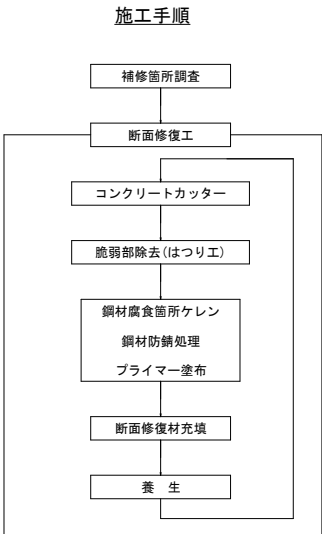
断面修復工



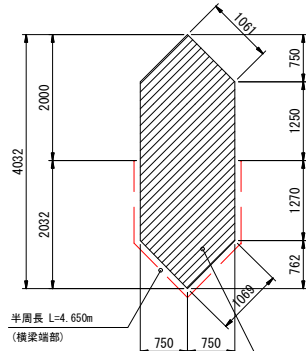
断面補修工一覧
(防錆処理有り)

番号	算式 (mm)	修復面積 (m2)	D φ1 (mm)	D φ2 (mm)	B:修復深さ (mm)	修復体積 (m3)	適用
1	800 × 900	0.7200	13	29	124.5	0.0896	
2	1000 × 300	0.3000	13	29	124.5	0.0374	
3	500 × 400	0.2000	19	29	124.5	0.0249	
4	200 × 400	0.0800	22	29	124.5	0.0100	
5	1500 × 600	0.9000	19	29	124.5	0.1121	
6	700 × 500	0.3500	22	29	124.5	0.0436	
7	2000 × 300	0.6000	13	29	124.5	0.0747	
8	200 × 100	0.0200	13	29	124.5	0.0025	
9	150 × 300	0.0450	13	29	124.5	0.0056	
10	400 × 800	0.3200	13	29	124.5	0.0398	
11	500 × 90	0.0450	13	29	124.5	0.0056	
12	1000 × 20	0.0200	13	29	124.5	0.0025	
13	1000 × 300	0.3000	13	29	124.5	0.0374	
合計						0.4857	

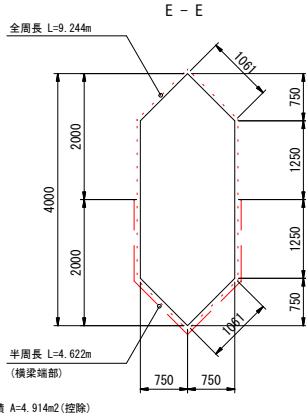
断面修復施工フロー



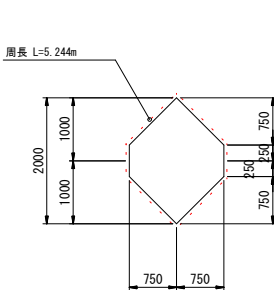
側面図 S=1:60
D-D



側面図 S=1:60
E-E



側面図 S=1:60
F-F



- 注1) ひびわれ注入材は「構造物施工管理要領 保全編 (NEXCO東・中・西日本)」よりエポキシ樹脂系ひびわれ注入材1種を使用する。
- 注2) 断面修復材は「構造物施工管理要領 保全編 (NEXCO東・中・西日本)」による性能照査項目を満足すること。
- 注3) 表面被覆材は「構造物施工管理要領 保全編 (NEXCO東・中・西日本)」による性能照査項目を満足すること。
- 注4) 剥落防止工の要求性能・性能照査方法は「構造物施工管理要領 保全編 (NEXCO東・中・西日本)」の規定を満足すること。
- 注5) 各工法の数量は現地で再測して寸法・形状を確認して施工数量を決定すること。

実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業 平成橋梁補修工事 (債務負担行為)			
番号	10/28	主塔補修工 詳細図(2)	縮尺 S=1:200
市道赤岩壁田線 中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

S=1 : 300

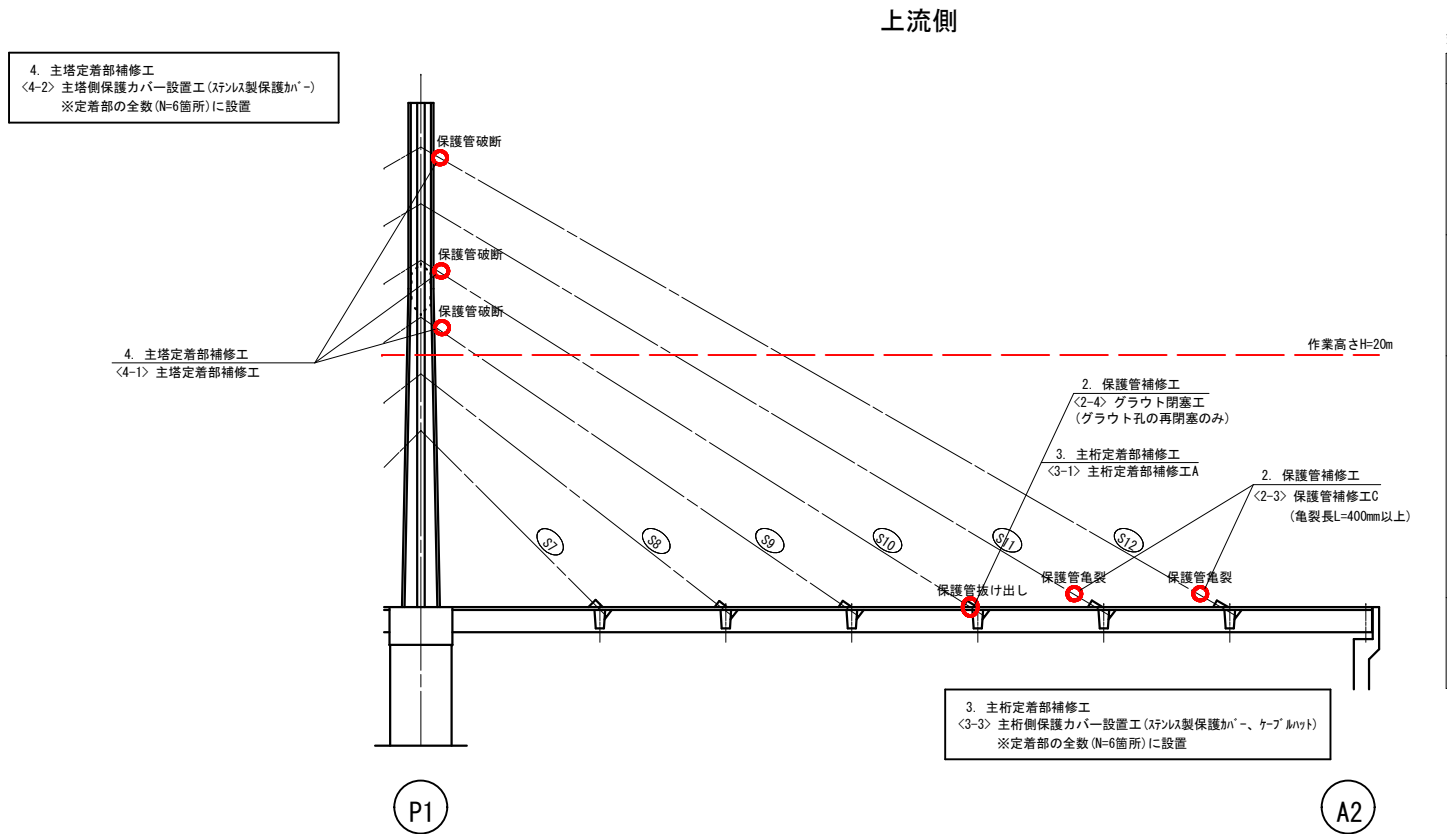
令和7年度 道路メンテナンス事業				
平成橋梁架修補修工事（債務負担行為）				
番号	11	28	斜材ケーブル 補修工全体図(1)	縮尺 S=1:300
市道赤岩壁田線				
中野市大市赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

注2) 各工法の数量は現地で再測して寸法・形状を確認して施工数量を決定すること。

斜材ケーブル補修工全体図(2)

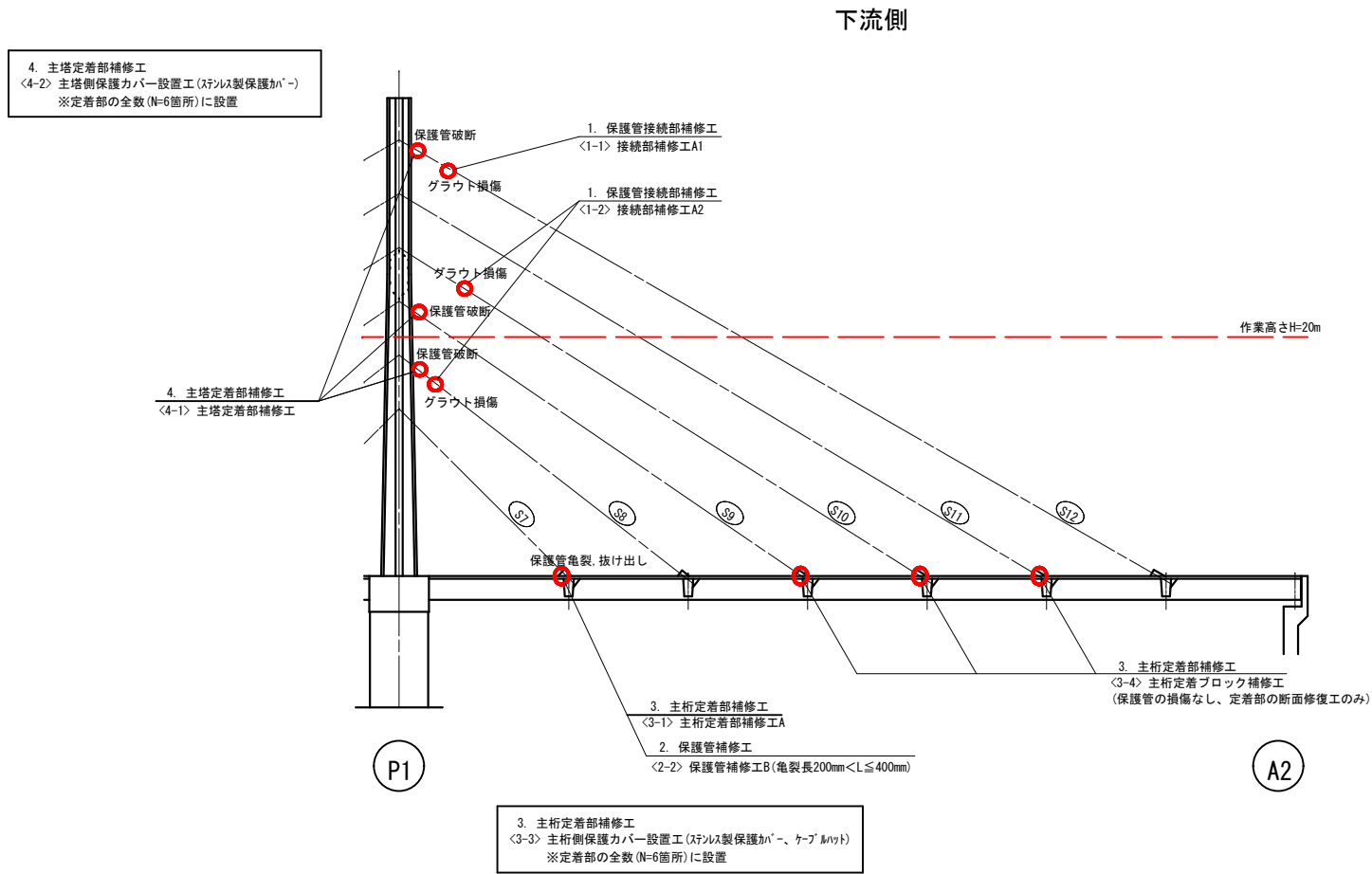
S=1:300

【P1橋脚～A2橋台】



斜材ケーブル補修工（P1橋脚～A2橋台）

工 種	種 別	単 位	数 量	補 修 箇 所	備 考
保護管接続部補修工	＜1-1＞接続部補修工A1【PCグラウトに変状なし】	箇所	1	S12(下流側)	接続部を熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
	＜1-2＞接続部補修工A2【PCグラウトに脱落や亀裂あり】 ※接続部の上側の管径が大きい箇所	箇所	2	S8, S10(下流側)	変状がある部分のPCグラウトをはつり、防錆処理後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
	＜1-3＞接続部補修工B【PCグラウトに脱落や亀裂あり】 ※接続部の上側の管径が小さい箇所	箇所	?	?	変状がある部分のPCグラウトをはつり、防錆処理後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
保護管補修工	＜2-1＞保護管補修工A【亀裂長L=200mm以下】	箇所	?	?	破損した保護管を除去し、防錆処理後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
	＜2-2＞保護管補修工B【亀裂長L=200mm以上400mm以下】	箇所	1	S7(下流側)	破損した保護管を除去し、防錆処理後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
	＜2-3＞保護管補修工C【亀裂長L=400mm以下】	箇所	2	S11, S12(上流側)	破損した保護管を除去し、防錆処理後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。
	＜2-4＞グラウト閉塞工【閉塞材に脱落や亀裂あり】	箇所	1	S10(上流側)	閉塞材を再設置する。
主桁定着部補修工	＜3-1＞主桁定着部補修工A【保護管の抜け出しあり】	箇所	2	S10(上流側), S7(下流側)	破損した保護管を除去し、PC鋼棒定着用鋼管を防錆処理した後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。 保護管周囲のコンクリートをはつり、ポリマーセメントモルタルにより断面修復を行う。
	＜3-2＞主桁定着部補修工B【保護管の破断あり】	箇所	?	?	破損した保護管を除去し、PC鋼棒定着用鋼管を防錆処理した後に保護管新設・PCグラウト充填を行い、熱収縮ゴムチューブにより被覆する。 保護管周囲のコンクリートをはつり、ポリマーセメントモルタルにより断面修復を行う。
	＜3-3＞保護カバー設置工	箇所	12	※定着部の全箇所	保護管にステンレス製保護カバーを被せる。ケーブルハットを取り付け、劣化因子の侵入を防ぐ。
	＜3-4＞斜材定着ブロック補修工【保護管の変状なし】	箇所	3	S9, S10, S11(下流側)	保護管周囲のコンクリートをはつり、ポリマーセメントモルタルにより断面修復を行う。
主塔定着部補修工	＜4-1＞主塔定着部補修工【保護管の抜け出しあり】	箇所	6	S9, S10, S12(上流側)、 S8, S9, S12(下流側)	露出したPCグラウトをはつり、防錆処理後に保護管を新設してPCグラウトを充填する。
	＜4-2＞保護カバー設置工	箇所	12	※定着部の全箇所	保護管に保護カバーを被せる。



実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁補修工事（橋梁負担行為）			
番号	12/28	斜材ケーブル補修工全体図(2)	縮尺 S=1:300
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

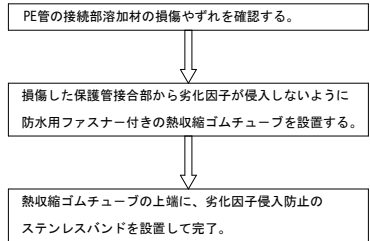
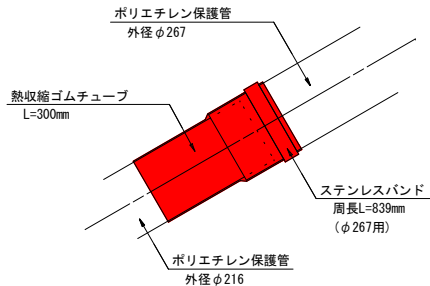
斜材ケーブル補修工詳細図(1)

S=1:100

【保護管接続部補修工】

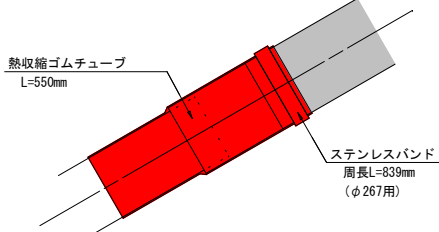
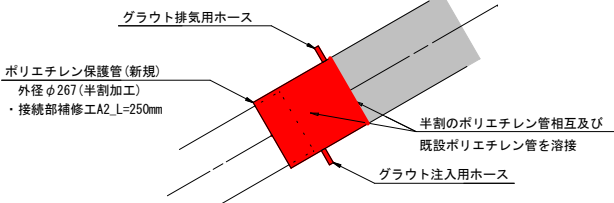
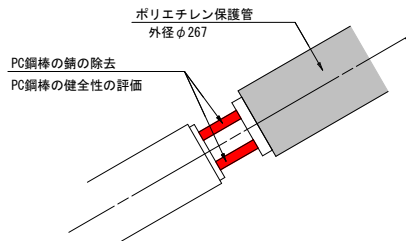
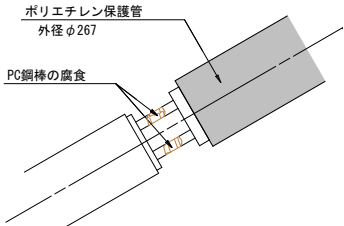
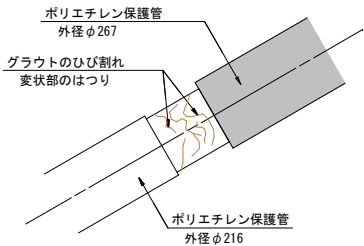
接続部補修工A1

- ・ 接合部の上側の管径が大きい箇所の補修方法。
(PCグラウトに変状がないケース)



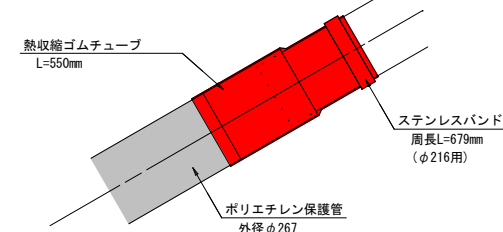
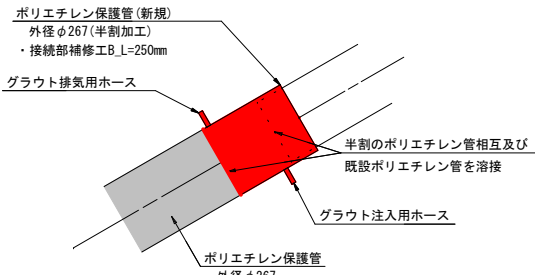
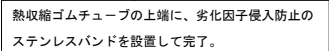
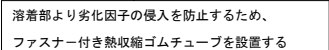
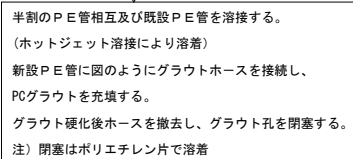
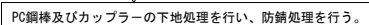
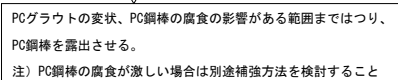
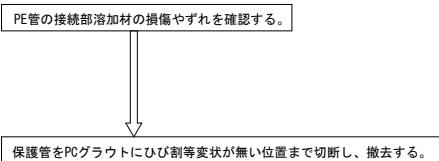
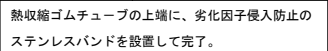
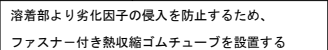
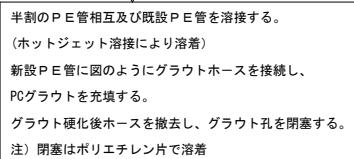
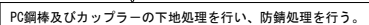
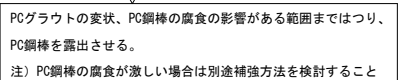
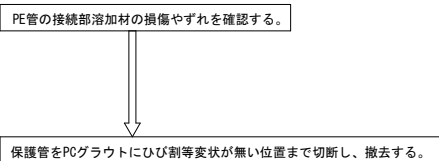
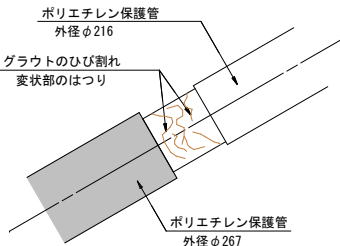
接続部補修工A2

- ・ 接合部の上側の管径が大きい箇所の補修方法。
(PCグラウトに変状があるケース)



接続部補修工B

- ・ 接合部の下側の管径が大きい箇所の補修方法。
(PCグラウトに変状があるケース)



【保護管接続部】

実 施 図

令和7年度 道路メンテナンス事業 平成橋梁補修工事（債務負担行為）				
番号	13/28	斜材ケーブル 補修工詳細図(1)	縮尺	S=1:100
市道赤岩壁田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

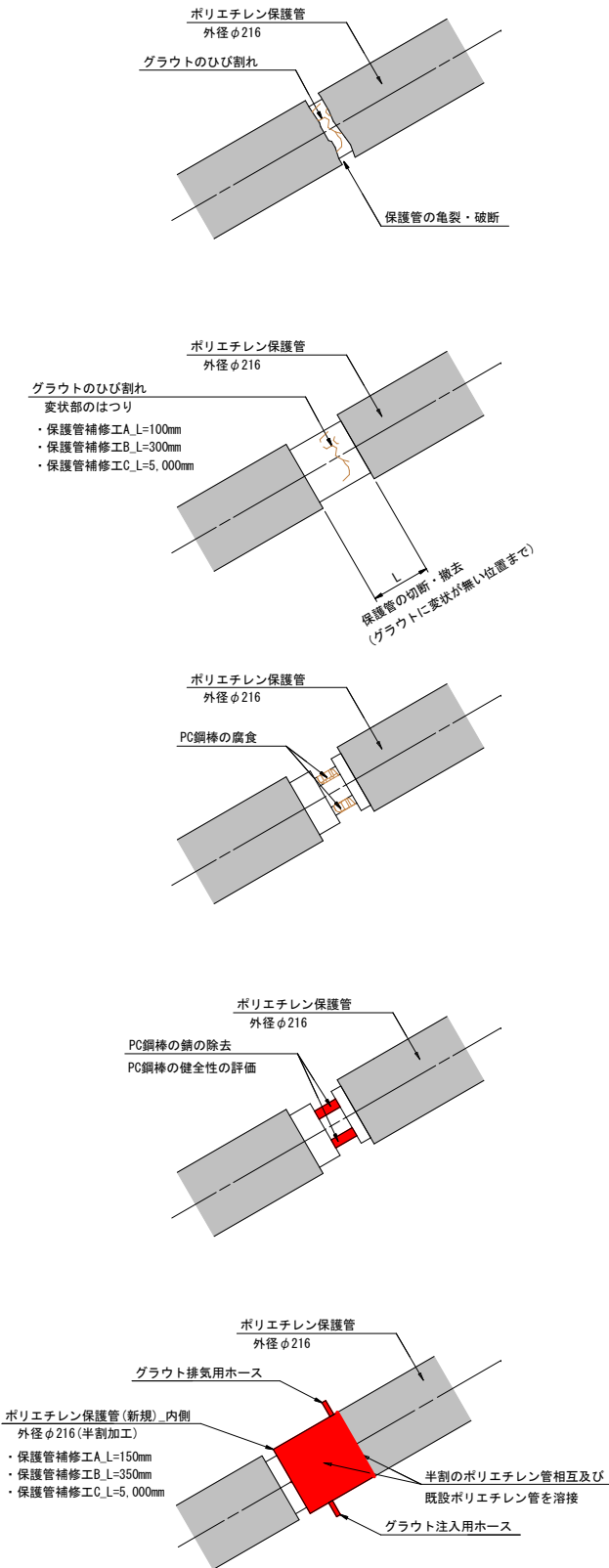
斜材ケーブル補修工詳細図(2)

S=1:100

【保護管補修工(亀裂箇所)】

保護管補修工

保護管補修工A(亀裂長L=200mm以下)
保護管補修工B(亀裂長200mm<L≤400mm)
保護管補修工C(亀裂長L=400mm以上)



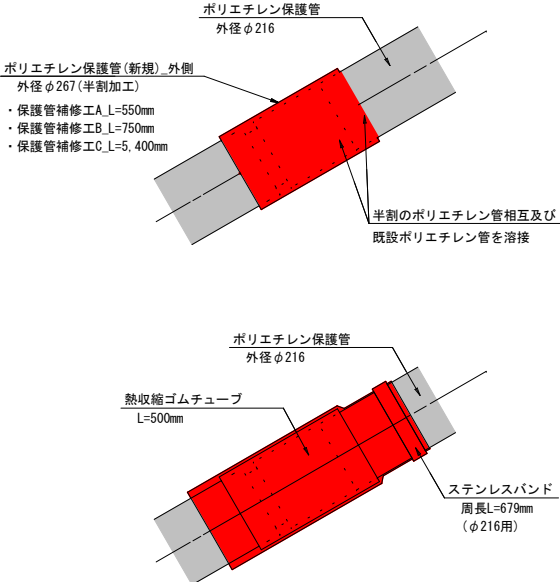
PE保護管の亀裂や破断の調査・確認を行う。

グラウトに変状が無い位置まで切断し撤去する。

PCグラウトの変状、PC鋼棒の腐食の影響がある範囲まではつり、PC鋼棒を露出させる。
注) PC鋼棒の腐食が激しい場合は別途補強方法を検討すること

PC鋼棒及びカプラーの下地処理を行い、防錆処理を行う。

半割のPE管相互及び既設PE管を溶接する。
(ホットジェット溶接により溶着)
新設PE管に図のようにグラウトホースを接続し、PCグラウトを充填する。
グラウト硬化後ホースを撤去し、グラウト孔を閉塞する。
注) 閉塞はポリエチレン片で溶着

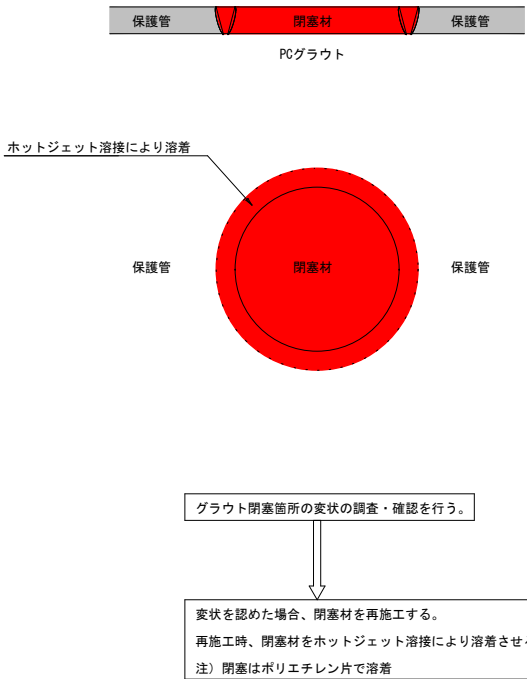


補修箇所からの劣化因子の侵入防止のため、更に半割のPE管相互及び既設PE管を溶接する。
(ホットジェット溶接により溶着)

溶着部より劣化因子の侵入を防止するため、ファスナー付き熱収縮ゴムチューブを設置する。

熱収縮ゴムチューブの上端に、劣化因子侵入防止のステンレスバンドを設置して完了。

グラウト閉塞工



【保護管接続部】

実施図

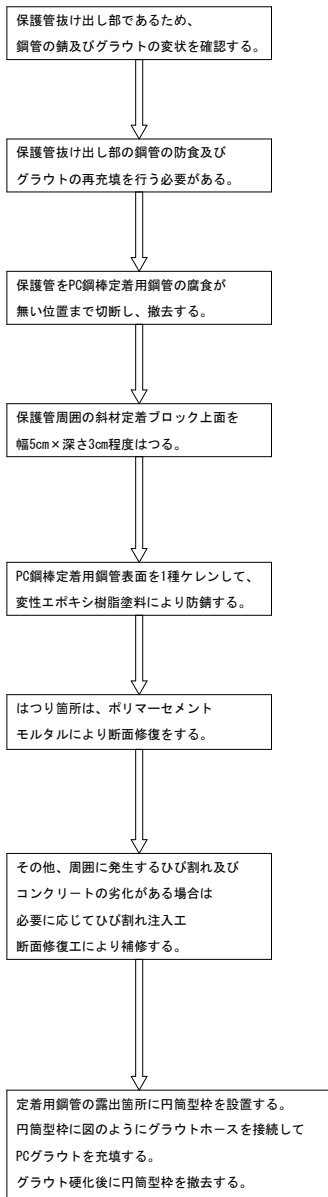
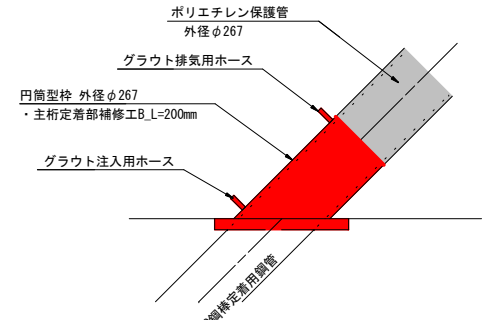
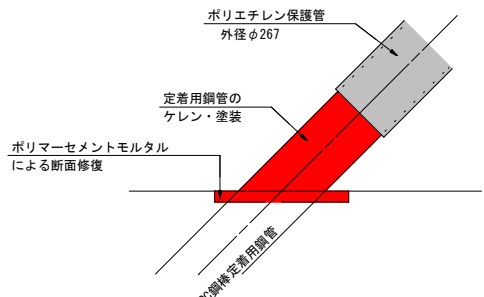
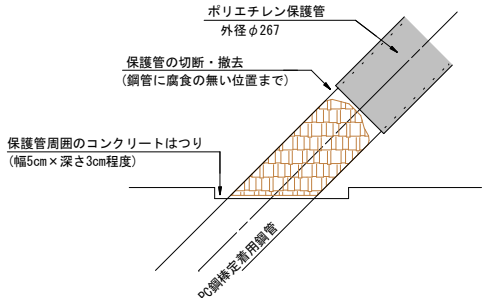
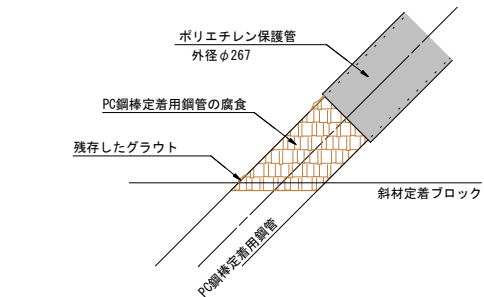
令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁補修工事（借務負担行為）			
番号	14 / 28	斜材ケーブル 補修工詳細図（2）	縮尺 S=1:100
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

斜材ケーブル補修工詳細図(3)

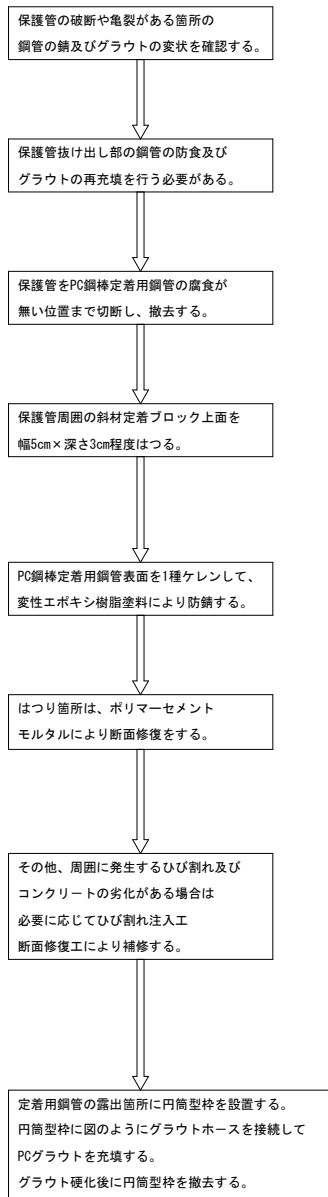
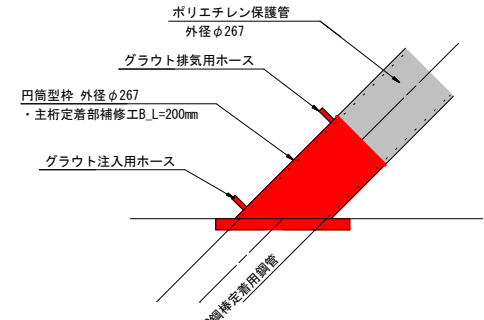
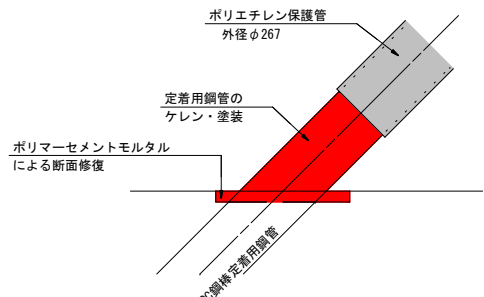
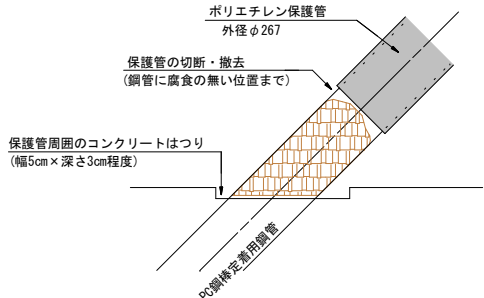
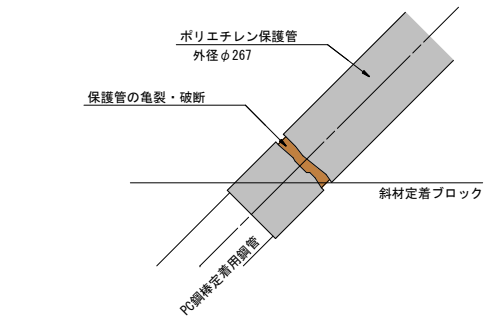
S=1:100

【主桁定着部補修工】

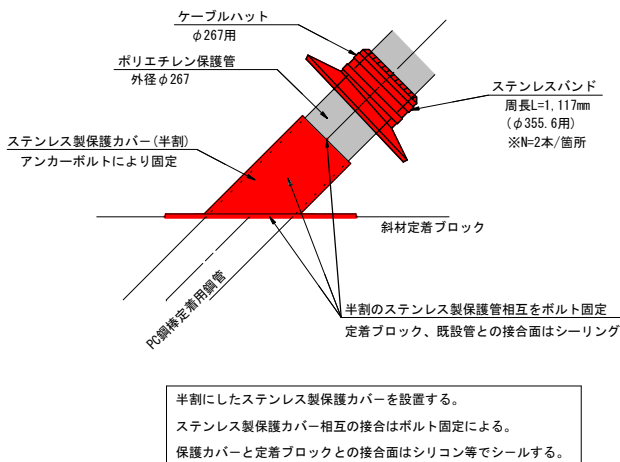
主桁定着部補修工A
保護管の抜け出し



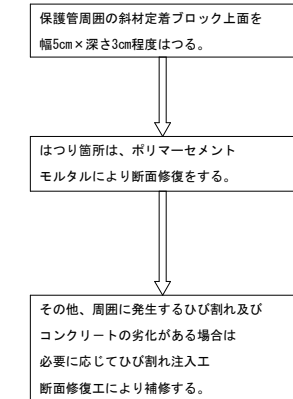
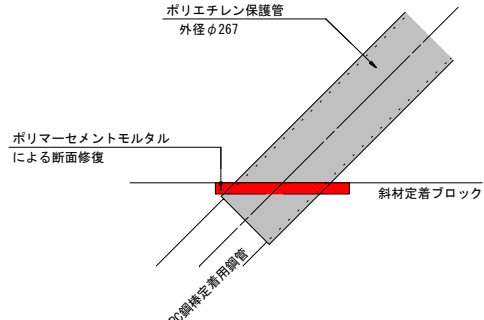
主桁定着部補修工B
保護管の破断



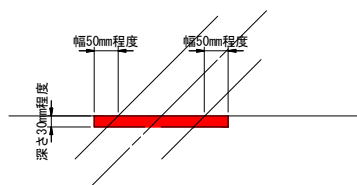
主桁側保護カバー設置工



主桁側斜材定着ブロック補修工



注1) 保護管周囲のはつり
幅5cm×深さ3cm程度



【主桁定着部】

実 施 図

令和7年度 道路メンテナンス事業

平成橋梁補修工事（借務負担行為）

番号

15/28

斜材ケーブル補修工詳細図(3)

縮尺

S=1:100

市道赤岩壁田線

中野市大字赤岩・笠原 平成橋

設計会社

測量会社

調査会社

中野市役所

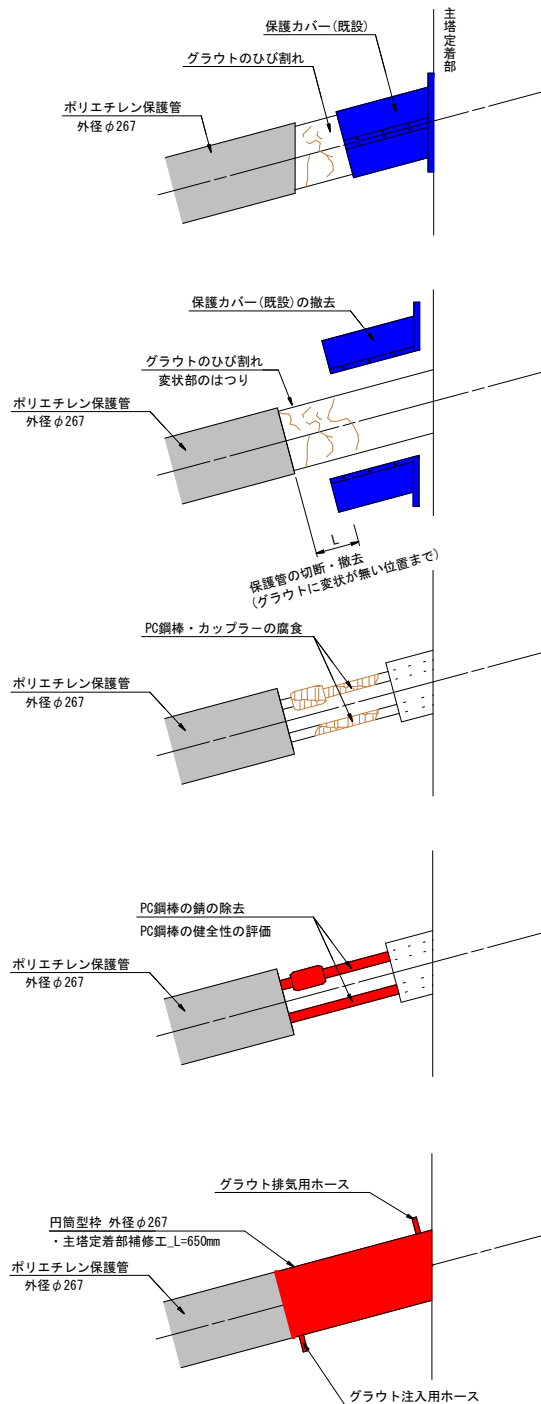
斜材ケーブル補修工詳細図(4)

S=1:100

【主塔定着部補修工】

保護管の抜け出し

主桁側保護カバー設置工



保護管抜け出し部であるため、鋼管の錆及びグラウトの変状を確認する。

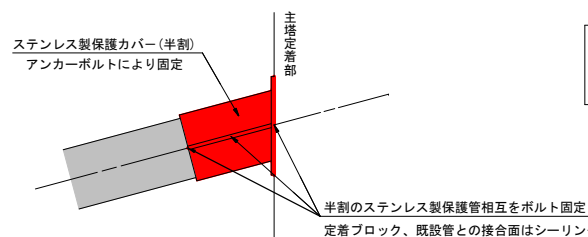
保護管抜け出し部のグラウトが剝離して、PC鋼棒・カップラーの腐食がある。

保護管をPCグラウトにひび割等変状が無い位置まで切断し、撤去する。また既設の保護カバーを撤去する。

PCグラウトの変状、PC鋼棒の腐食の影響がある範囲までPCグラウトをはつり、PC鋼棒を露出させる。

PC鋼棒及びカップラーの下地処理を行い、防錆処理を行う。
注) PC鋼棒の腐食が激しい場合は別途補強方法を検討すること

定着用鋼管の露出箇所に円筒型枠を設置する。円筒型枠に図のようにグラウトホースを接続してPCグラウトを充填する。グラウト硬化後に円筒型枠を撤去する。



半割にしたステンレス製保護カバーを設置する。ステンレス製保護カバー相互の接合はボルト固定による。保護カバーと定着ブロックとの接合面はシリコン等でシールする。

【主塔定着部】

令和7年度 道路メンテナンス事業				
平成橋梁補修工事 (債務負担行為)				
番号	16	28	斜材ケーブル 補修工詳細図(4)	縮尺 S=1:100
市道赤岩壁田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

ケーブル定着部防水カバー（桁側）

注記：本図はS1～S6野場合を示す、S7～S12は本図勝手反対とする。

斜材定着部カバー詳細図（1）

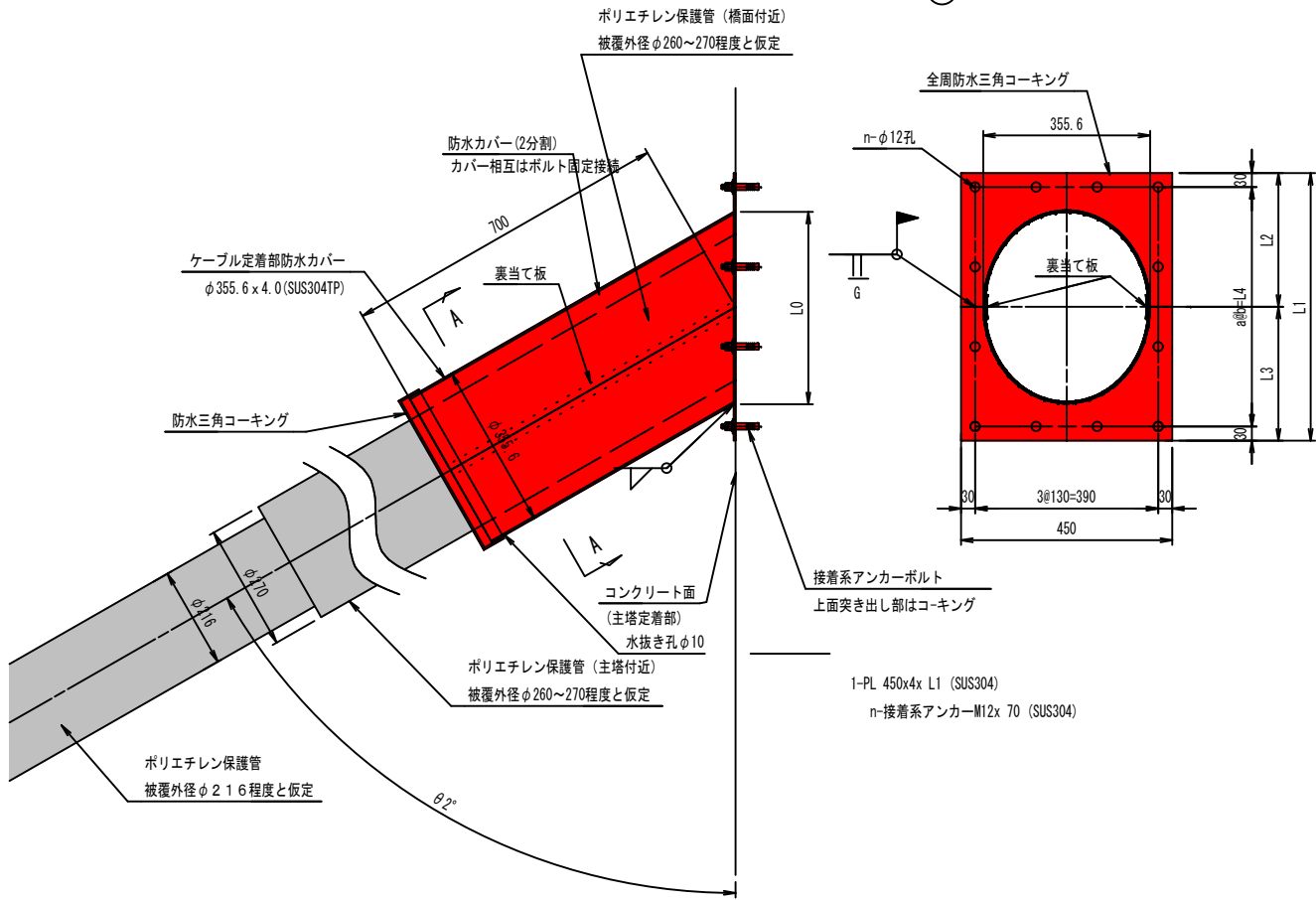
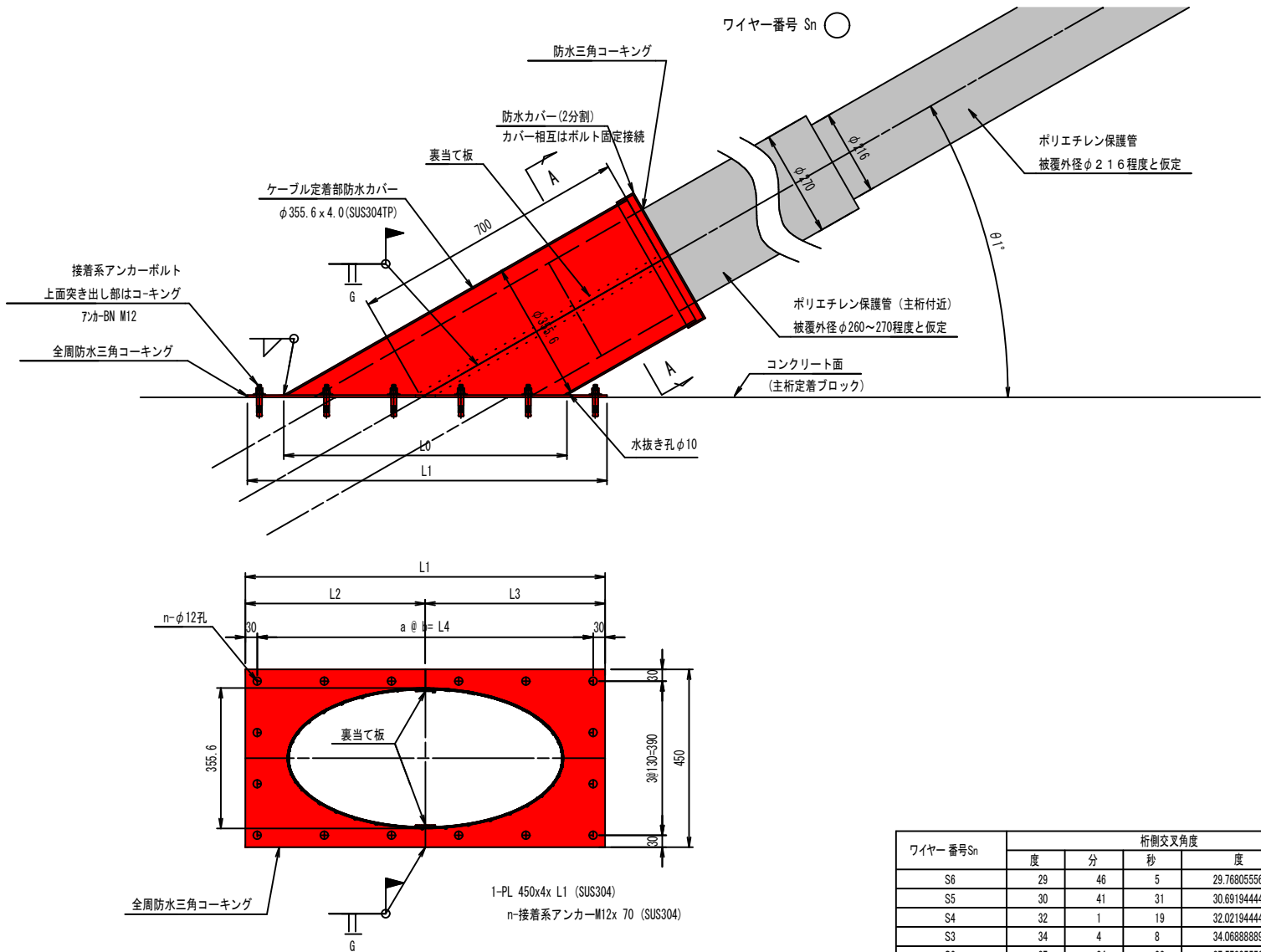
（参考図）

S=1：10

ケーブル定着部防水カバー（塔側）

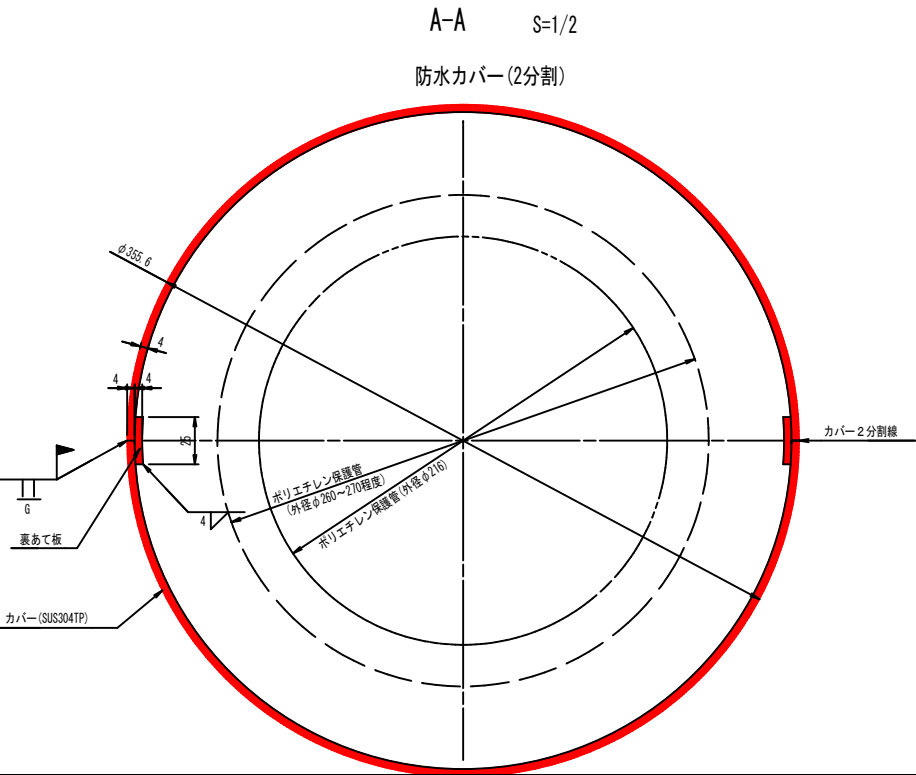
注記：本図はS1～S6野場合を示す、S7～S12は本図勝手反対とする。

ワイヤー番号 Sn



ワイヤー 番号Sn	桁側交叉角度				塔側交叉角度				桁側 L0(mm)	塔側 L0(mm)
	度	分	秒	度	度	分	秒	度		
S6	29	46	5	29.76805556	60.23194444	60	13	55	716	410
S5	30	41	31	30.69194444	59.30805556	59	18	29	697	414
S4	32	1	19	32.02194444	57.97805556	57	58	41	671	419
S3	34	4	8	34.06888889	55.93111111	55	55	52	635	429
S2	37	34	23	37.57305556	52.42694444	52	25	37	583	449
S1	44	44	10	44.73611111	45.26388889	45	15	50	505	501
S12	30	42	50	30.71388889	59.28611111	59	17	10	696	414
S11	31	37	16	31.62111111	58.37888889	58	22	44	678	418
S10	32	35	26	32.59055556	57.40944444	57	24	34	660	422
S9	34	55	52	34.93111111	55.06888889	55	4	8	621	434
S8	38	21	43	38.36194444	51.63805556	51	38	17	573	454
S7	45	32	5	45.53472222	44.46527778	44	27	55	498	508

ワイヤー番号 Sn	桁側カバー金物寸法								ワイヤー番号Sn	塔側カバー金物寸法							
	L0	L1	L2	L3	a	b	L4	n		L0	L1	L2	L3	a	b	L4	n
S6	716	910	455	455	5	170	850	16	S6	410	570	285	285	5	102	510	12
S5	697	900	450	450	5	168	840	16	S5	414	570	285	285	5	102	510	12
S4	671	890	445	445	5	166	830	16	S4	419	580	290	290	5	104	520	12
S3	635	880	440	440	5	164	820	16	S3	429	590	295	295	5	106	530	12
S2	583	830	415	415	5	154	770	16	S2	449	610	305	305	5	110	550	12
S1	505	760	380	380	5	140	700	16	S1	501	670	335	335	5	122	610	12
S12	696	910	455	455	5	170	850	16	S12	414	570	285	285	5	102	510	12
S11	678	900	450	450	5	168	840	16	S11	418	570	285	285	5	102	510	12
S10	660	890	445	445	5	166	830	16	S10	422	580	290	290	5	104	520	12
S9	621	880	440	440	5	164	820	16	S9	434	590	295	295	5	106	530	12
S8	573	830	415	415	5	154	770	16	S8	454	610	305	305	5	110	550	12
S7	498	760	380	380	5	140	700	16	S7	508	670	380	380	5	140	700	12



- 注記)
- 特記なき材質は全てSUS304(表面仕上げなし)とする。
 - 現場溶接箇所は酸洗いのこと。
 - 現地で既設ケーブルの形状位置を測定して、鋼製カバーを決定して工場製作すること。

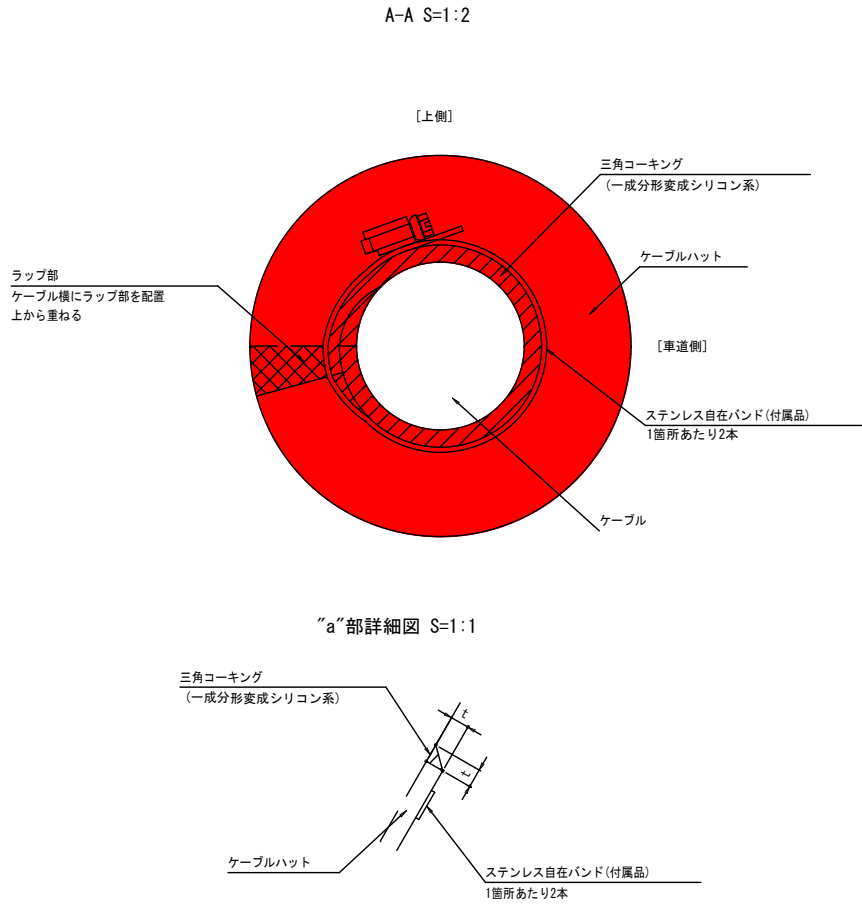
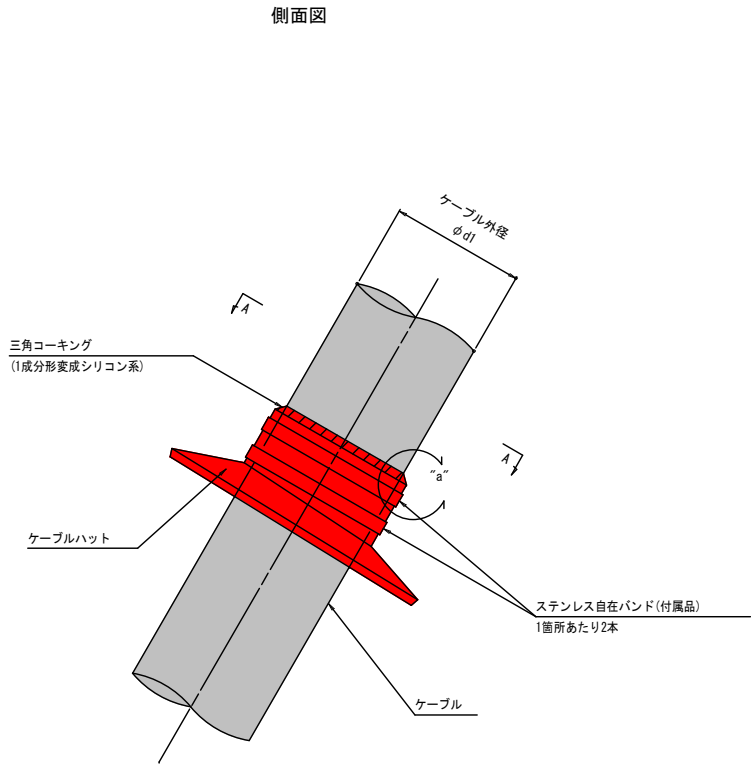
実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業	
平成橋梁補修工事（借路負担行為）	
番号 17/27	斜材定着部カバー詳細図(1) 縮尺 S=1:10
市道赤岩壁田線	
中野市大字赤岩・笠原 平成橋	
設計会社	
測量会社	
調査会社	
中野市役所	

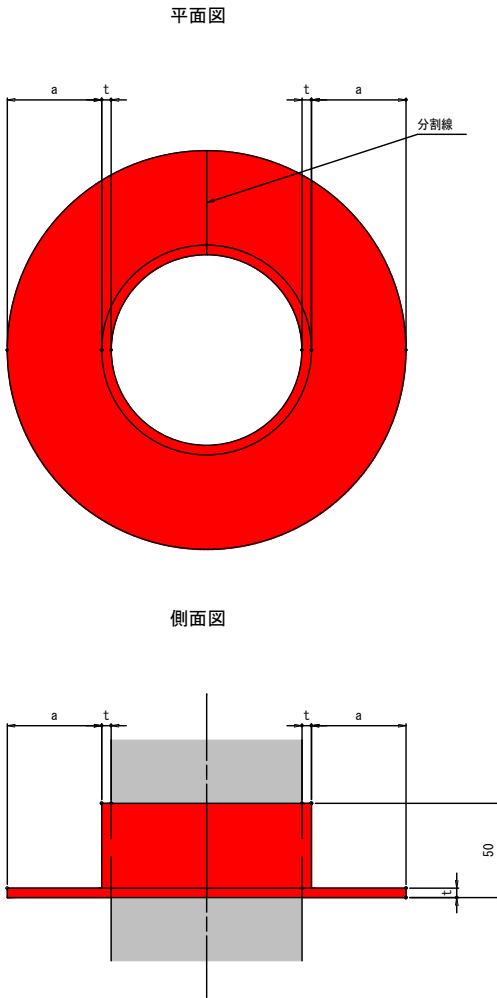
斜材定着部カバー詳細図(2)
(参考図)

S=1:5

取付概要図

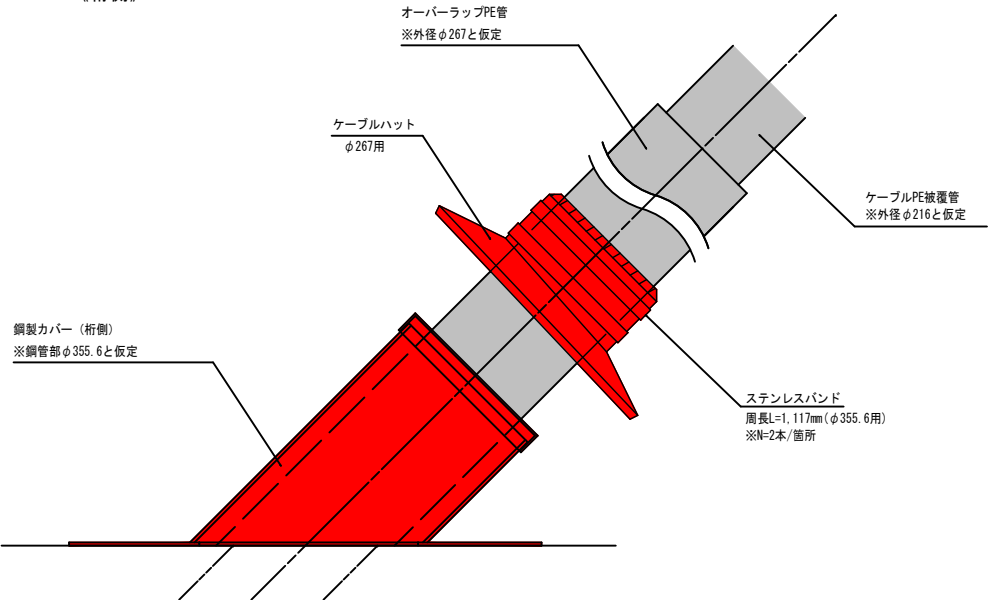


ケーブルハット製品図 S=1:2

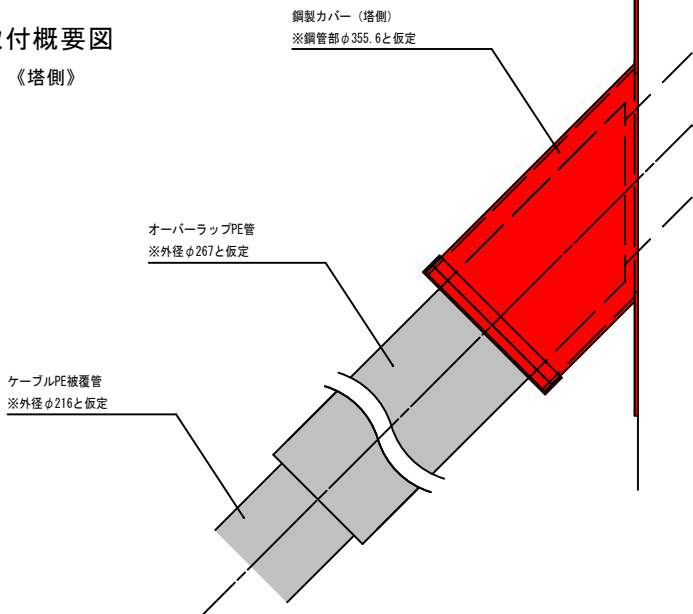


- 注記)
1. 本図は参考図であり、詳細は工事案件ごとに検討すること。
 2. ケーブルハットの材質はEPDM(黒)またはOR(黒)とする。
 3. 三角コーキングをする時は脱脂、目粗し、プライマー塗布を行うこと。

取付概要図
《桁側》



取付概要図
《塔側》



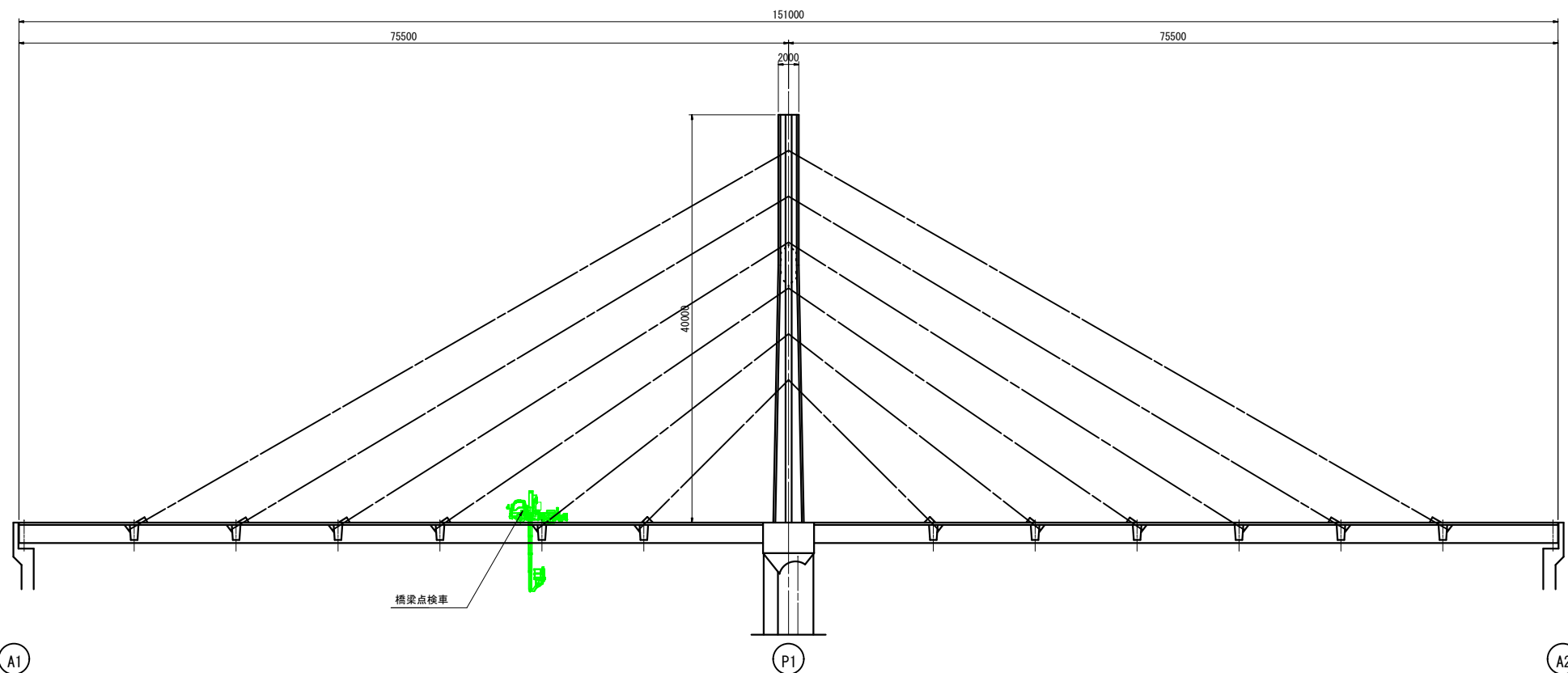
実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋梁架設補修工事（借務負担行為）			
番号	18 / 27	斜材定着部力バー 詳細図（2）	縮尺 S=1:10
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

平成橋 施工要領図（その1）

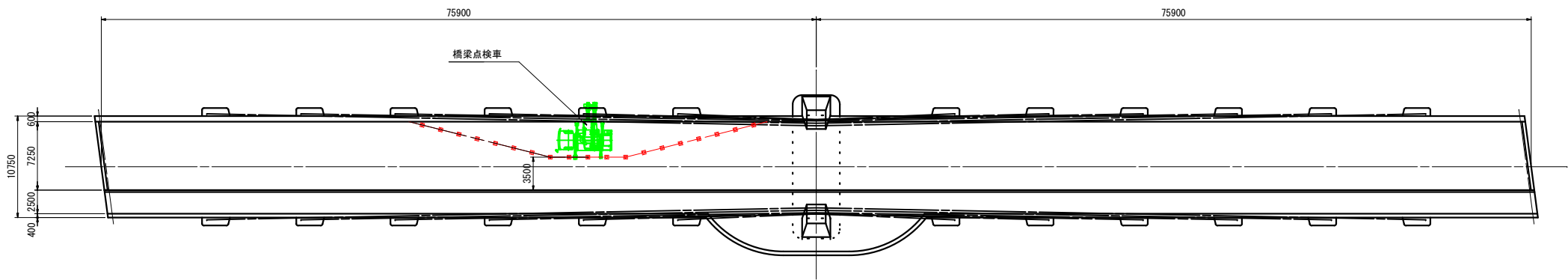
橋梁点検車使用時

側面図 S=1:300

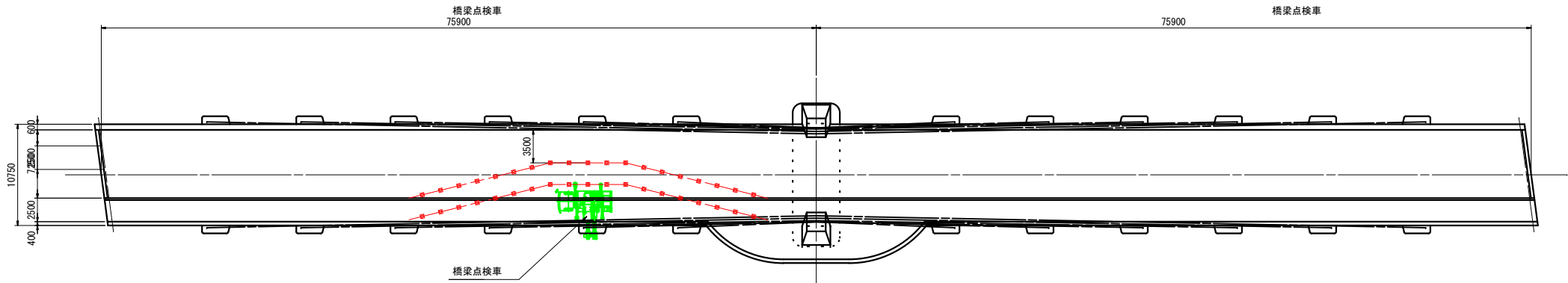


平面図 S=1:300

車道側施工時

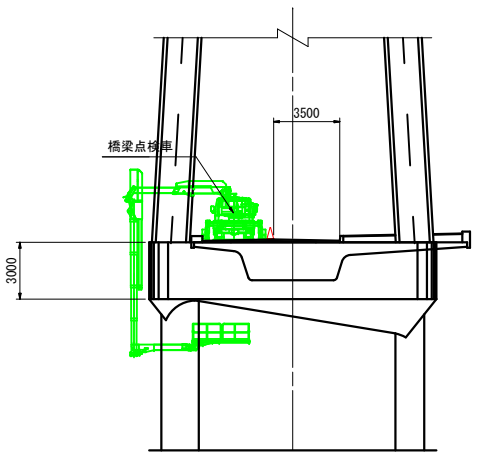


歩道側施工時

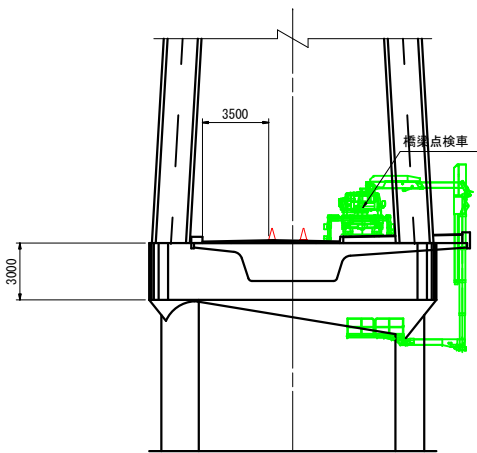


断面図 S=1:200

車道側施工時



歩道側施工時

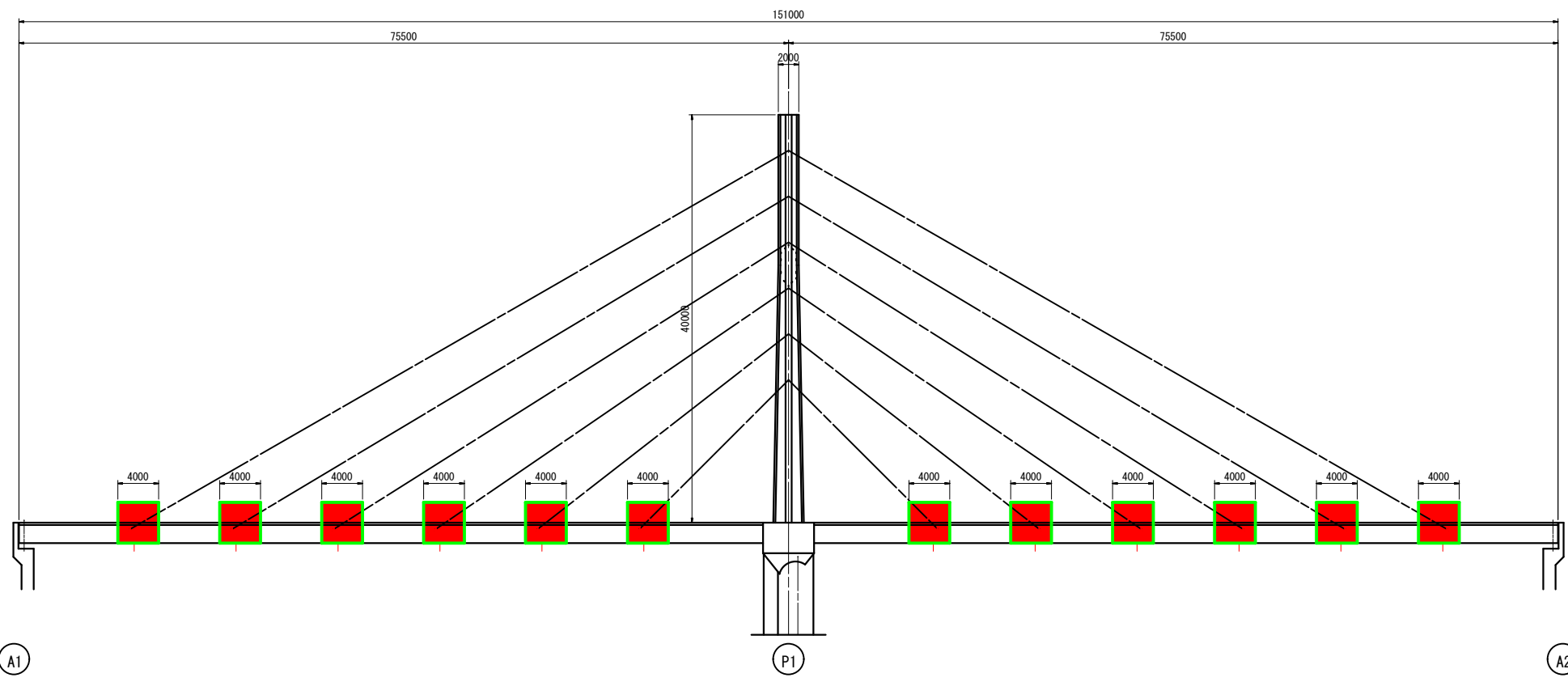


【主桁下面補修時】			実 施 図	
令和7年度 道路メンテナンス事業 平成橋梁劣化補修工事（債務負担行為）				
番号	19 / 28	施工要領図(1) (橋梁点検車)	縮尺	図 示
市道赤岩壁田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

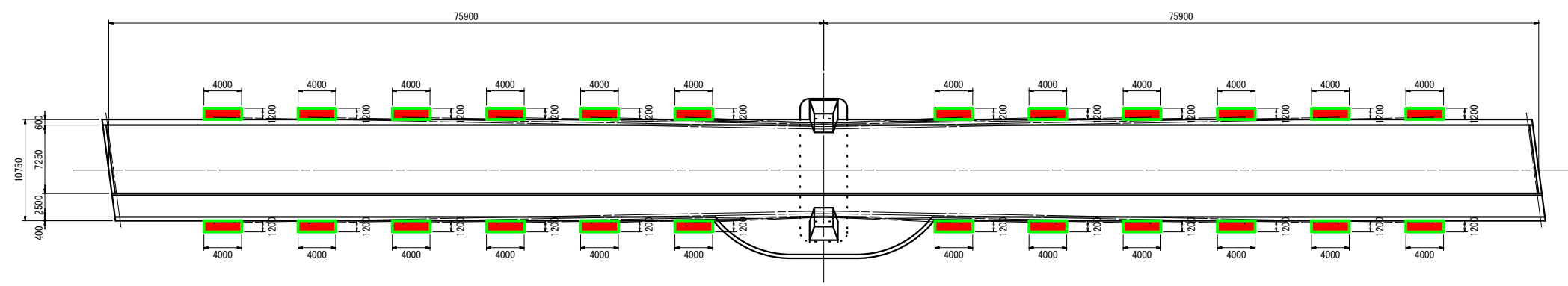
平成橋 施工要領図（その2）

ステージ足場図

側面図 S=1:300

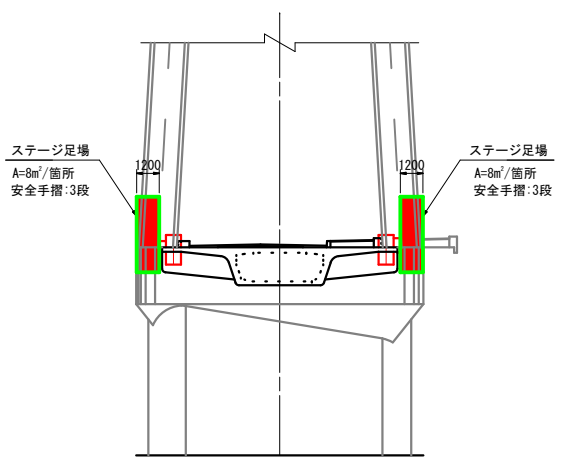


平面図 S=1:300

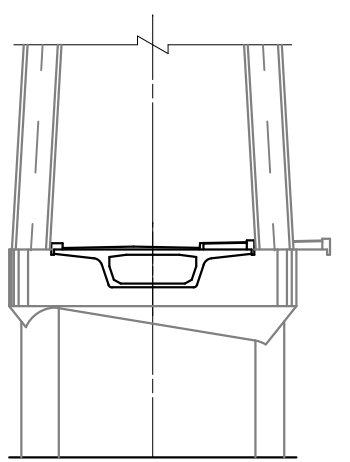


断面図 S=1:200

斜材定着位置



標準部



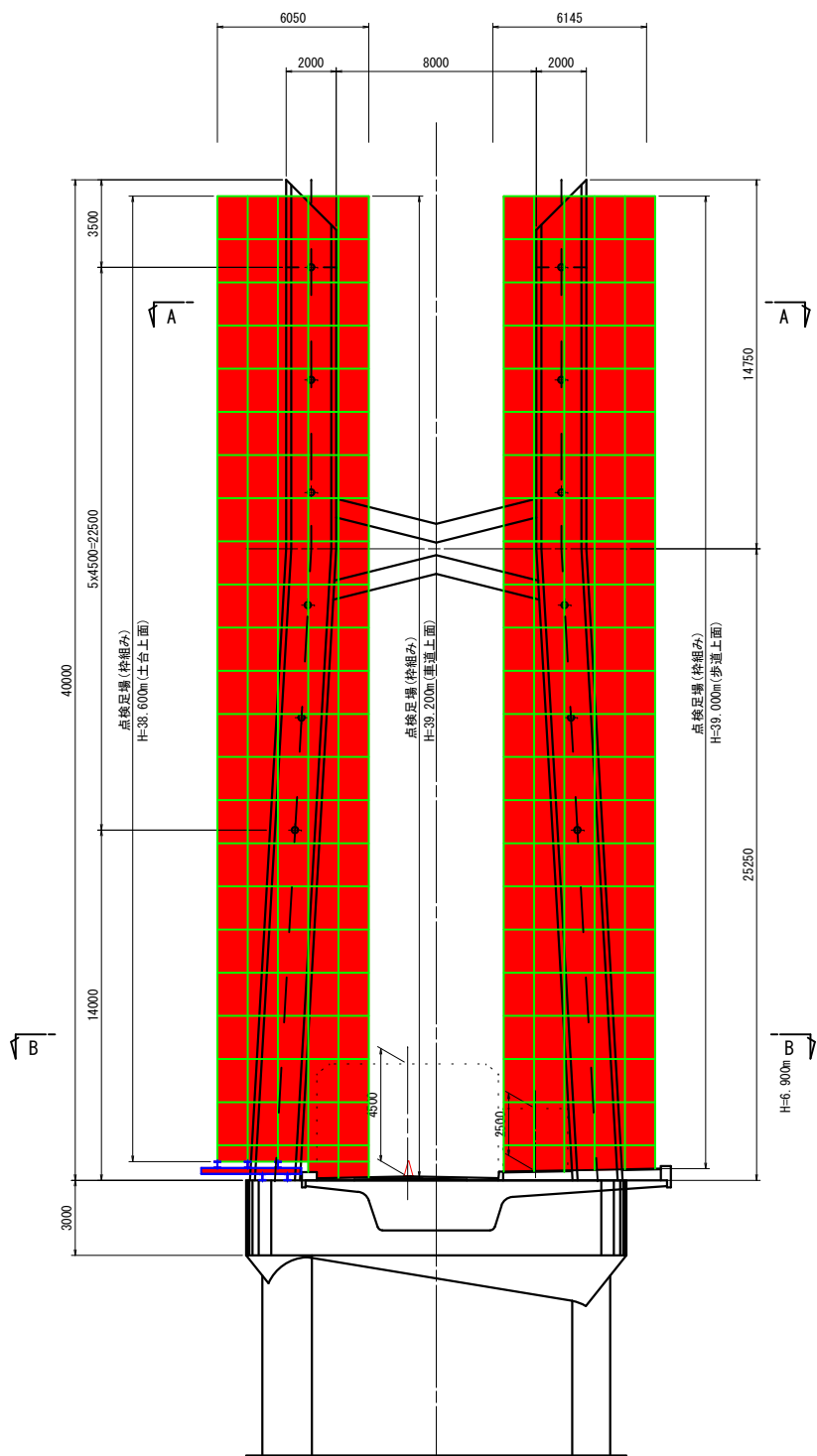
【主桁側面補修時】 実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事（借路負担行為）			
番号	20 / 28	施工要領図(2) (ステージ足場)	図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

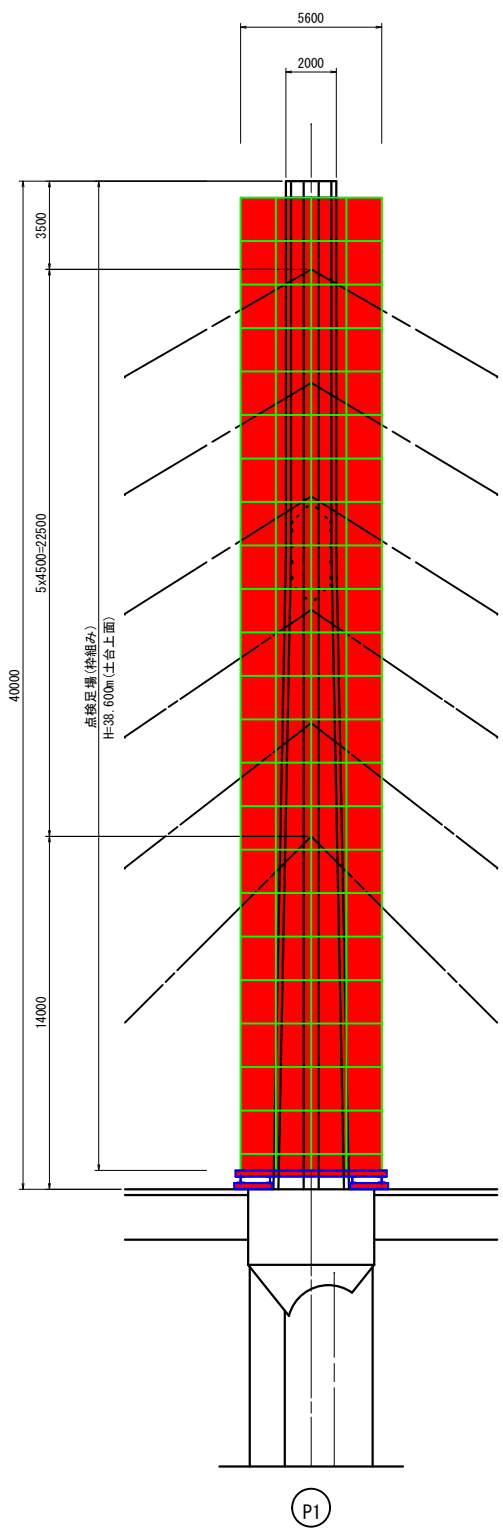
平成橋 施工要領図(その3)

桝組足場図

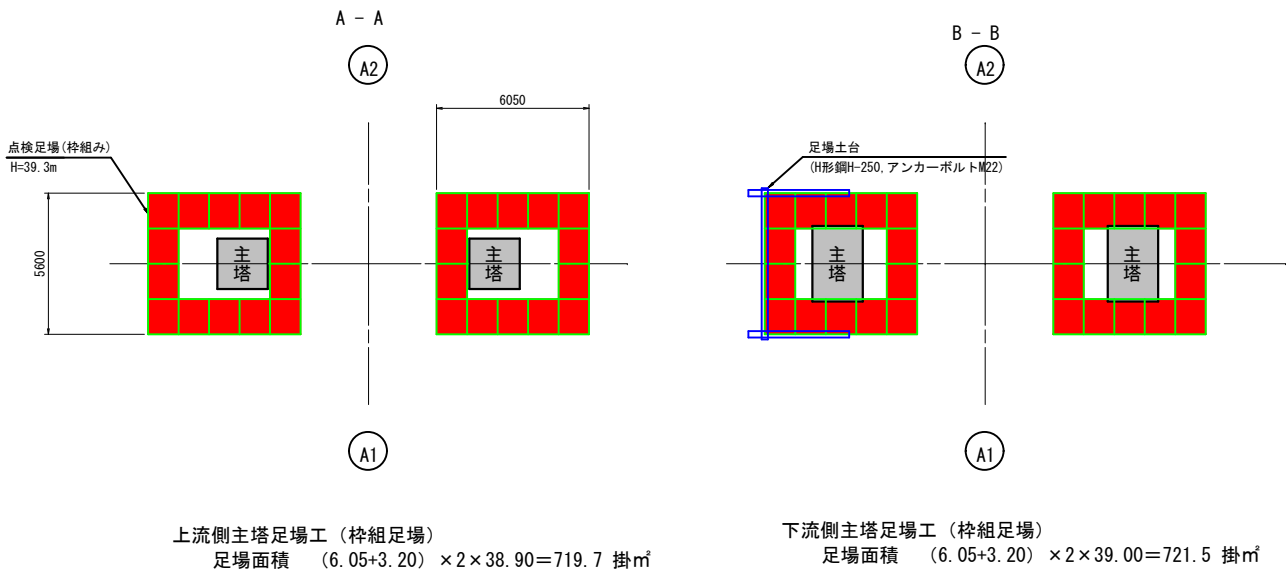
断面図 S=1:150



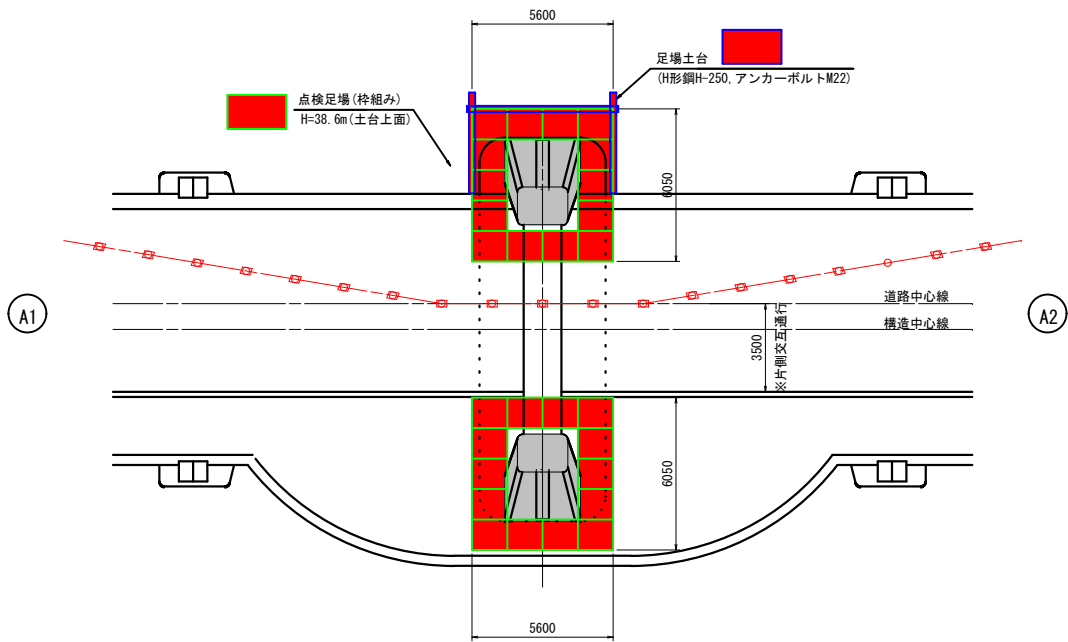
側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



平面図 S=1:150

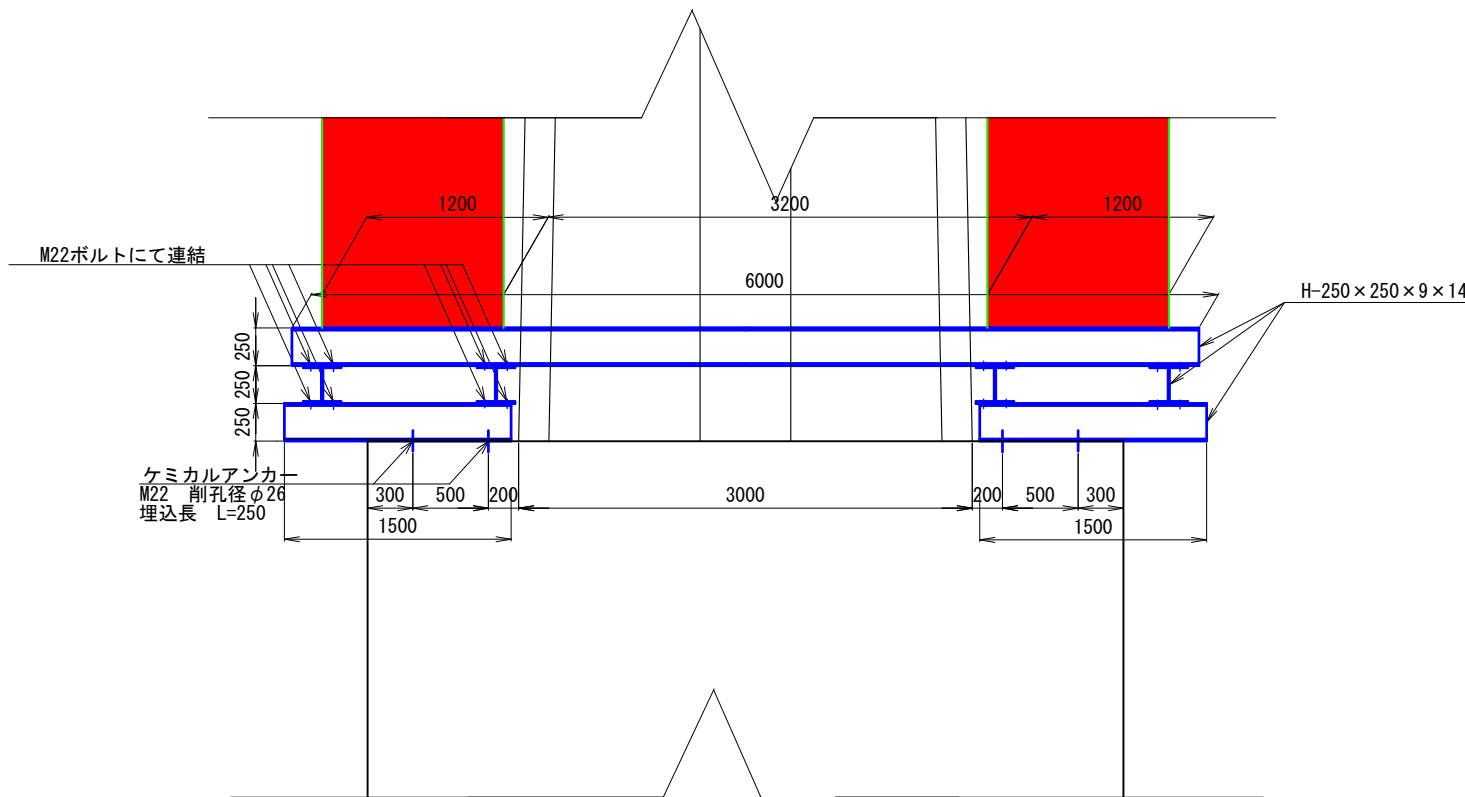


【主塔部補修用足場】 実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事 (借務負担行為)			
番 号	21 / 28	縮 尺	図 示
(特種足場等)			
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

平成橋 施工要領図(その4)

足場土台工詳細図



上流側主塔足場土台工鋼材

H-250 x 250 x 9/14 (山留材)

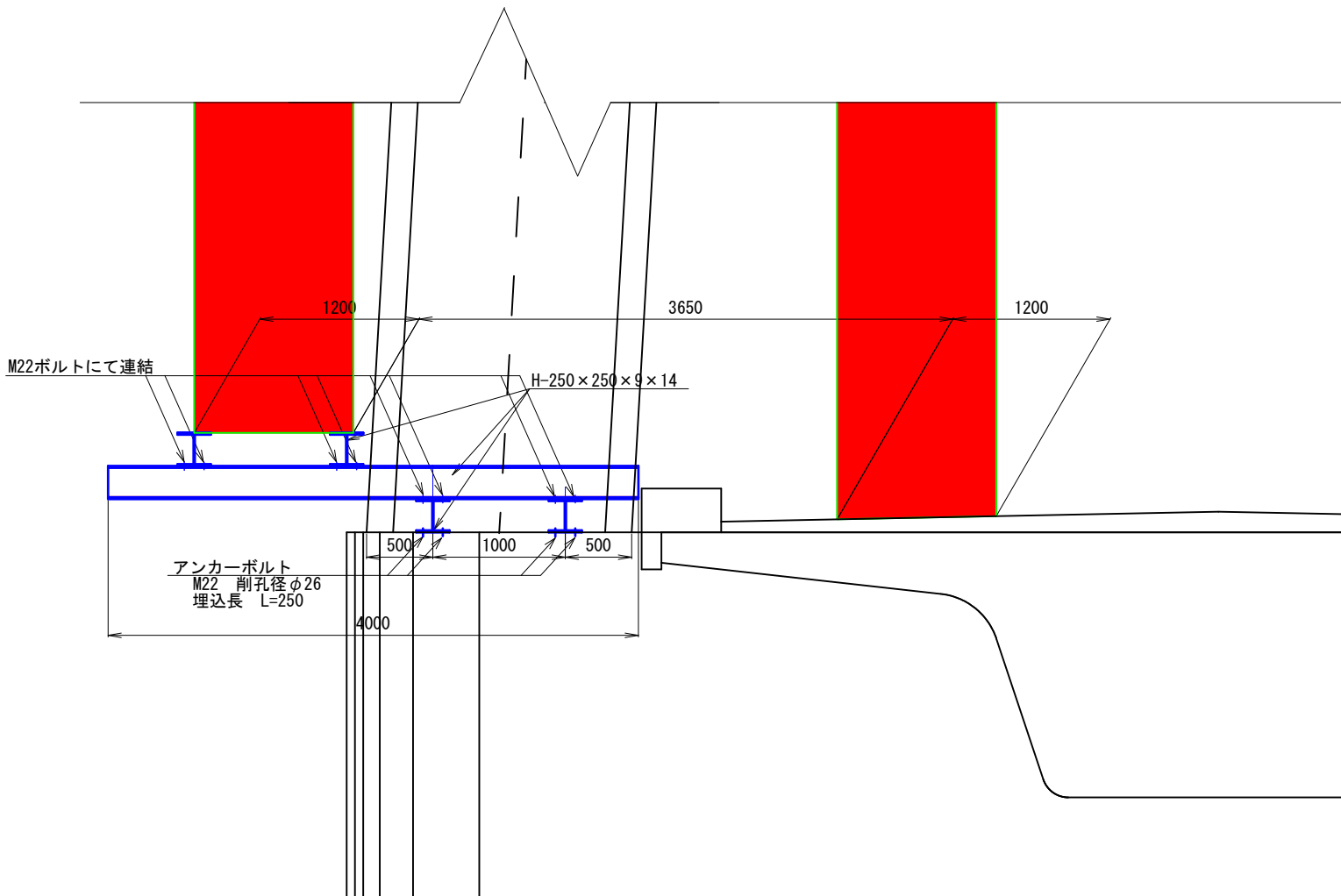
- ・ L=1.5m 4本
- ・ L=4.0m 4本
- ・ L=6.0m 2本

W= (1.5m x 4本 + 4.0m x 4本 + 6.0m x 2本) x 71.8kg/m = 2,441.2(kg)

アンカーボルト M22 16本

注入材(エポキシ樹脂系)

$$\{ (\text{削孔径}^2 - \text{アンカー径}^2) \times \pi \times 1/4 \times \text{削孔深さ} \} \times 1,200 (\text{kg/m}^3) \times (1 + \text{ロス率K})$$
$$= \{ (0.026^2 - 0.022^2) \times \pi \times 1/4 \times 0.250 \} \times 1,200 (\text{kg/m}^3) \times (1 + 0.20)$$
$$= 0.054 (\text{kg/本})$$



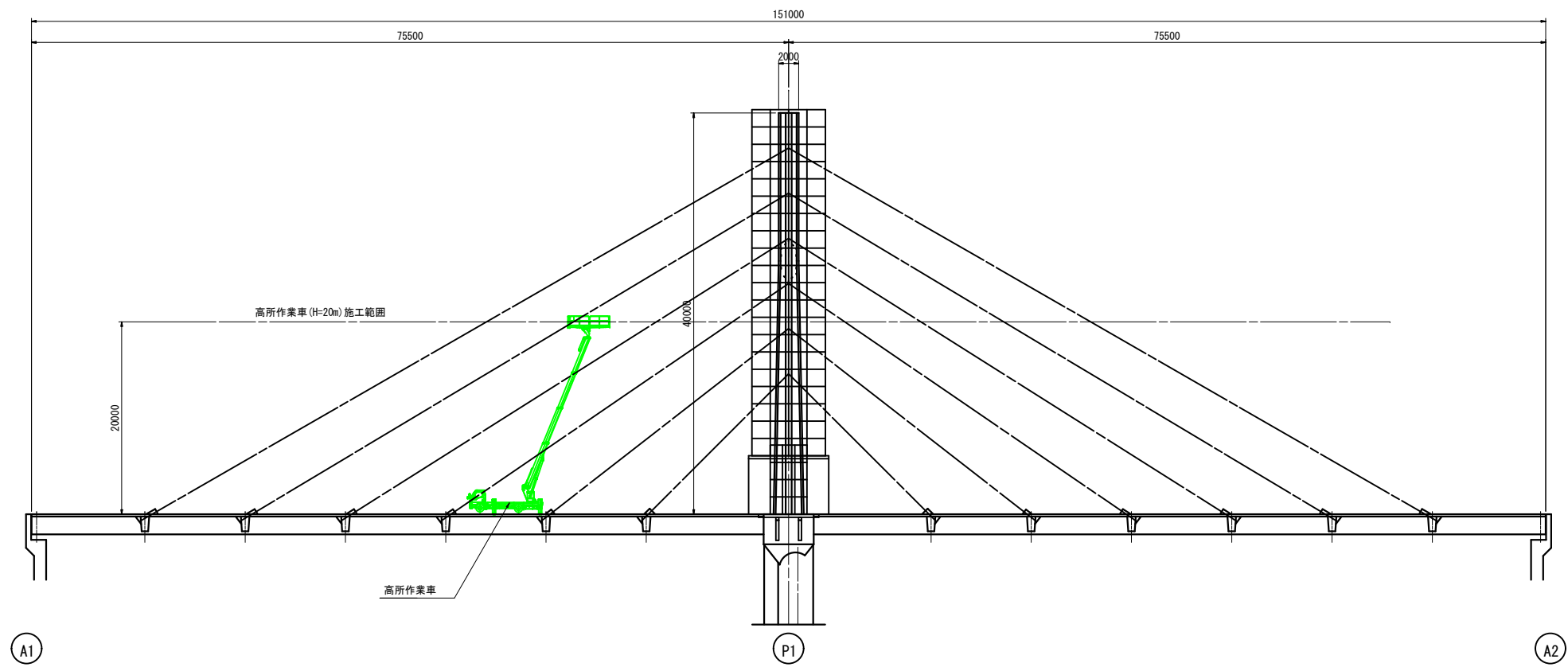
【主塔部補修用足場】 実 施 図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事（借務負担行為）			
番号	22	28	28
施工要領図(4)		縮尺	図示
(足場土台台詳細図)			
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

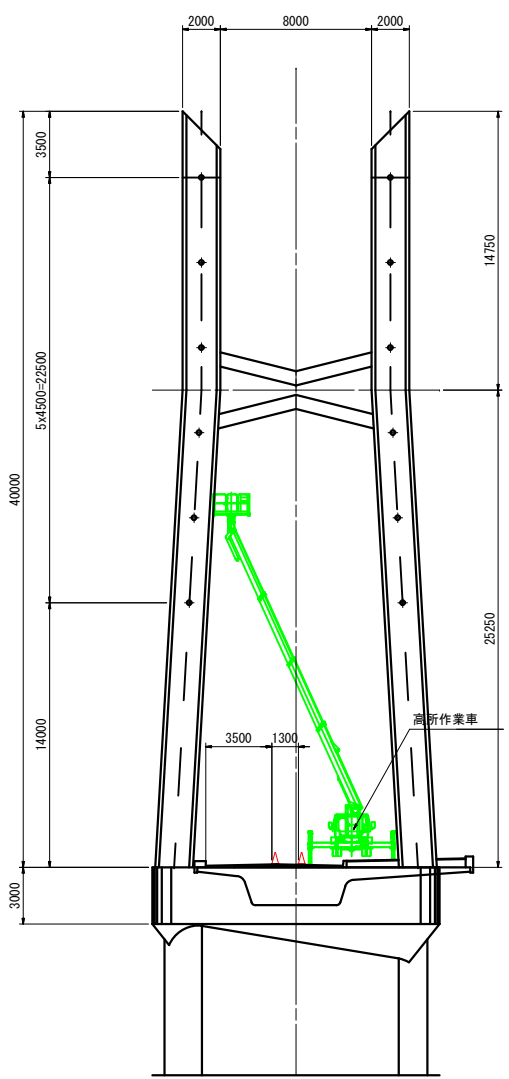
平成橋 施工要領図 (その4)

高所作業車(スーパーデッキ)使用時

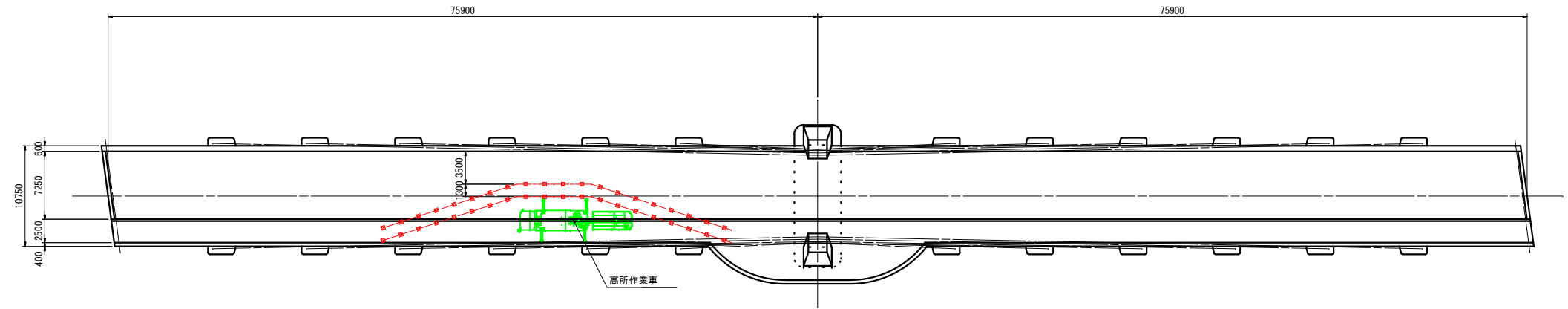
側面図 S=1:300



断面図 S=1:200



平面図 S=1:300



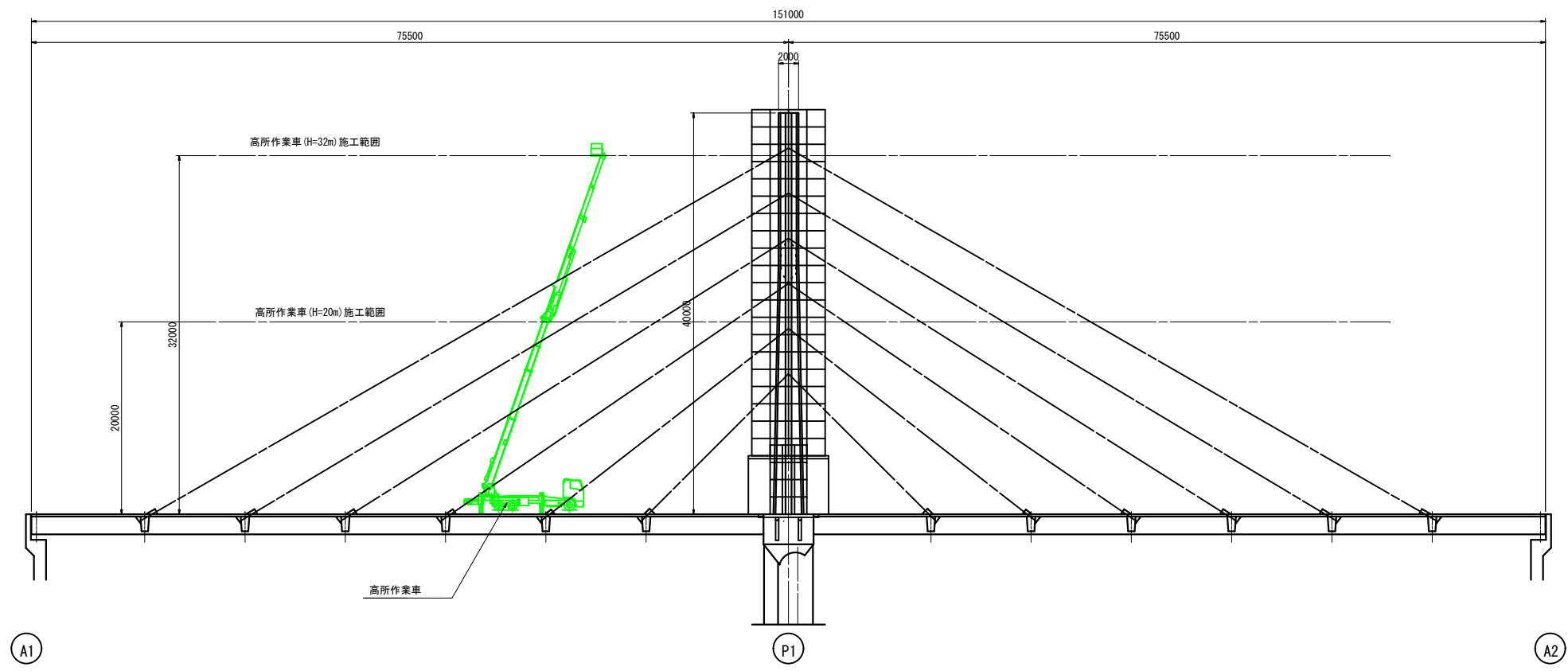
【斜材補修時 (H=20m以下)】 実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事 (借路負担行為)			
番 号	23 / 28	施工要領図 (5) (高所作業車)	縮 尺 図 示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

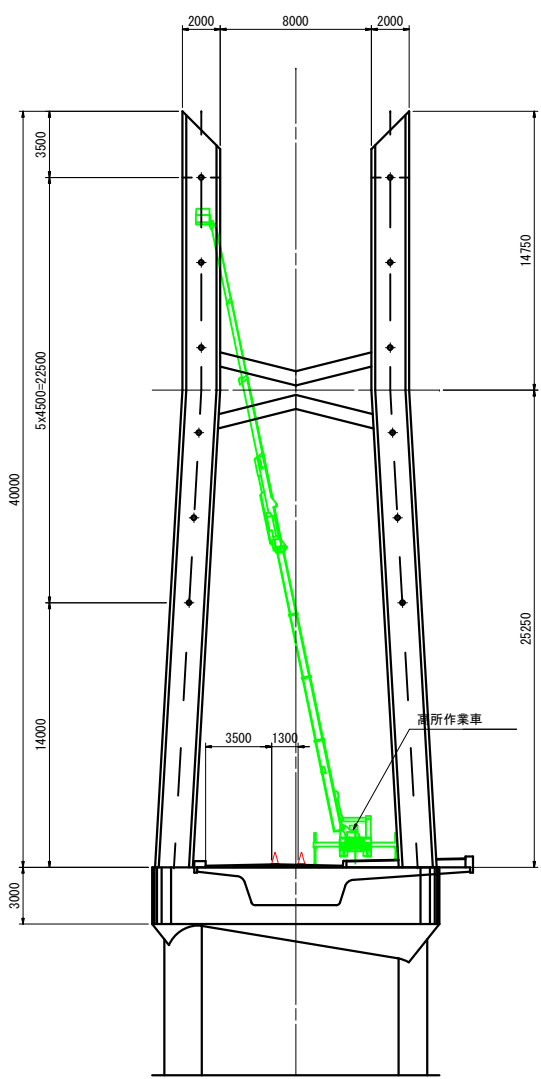
平成橋 施工要領図 (その5)

高所作業車(スーパーデッキ)使用時

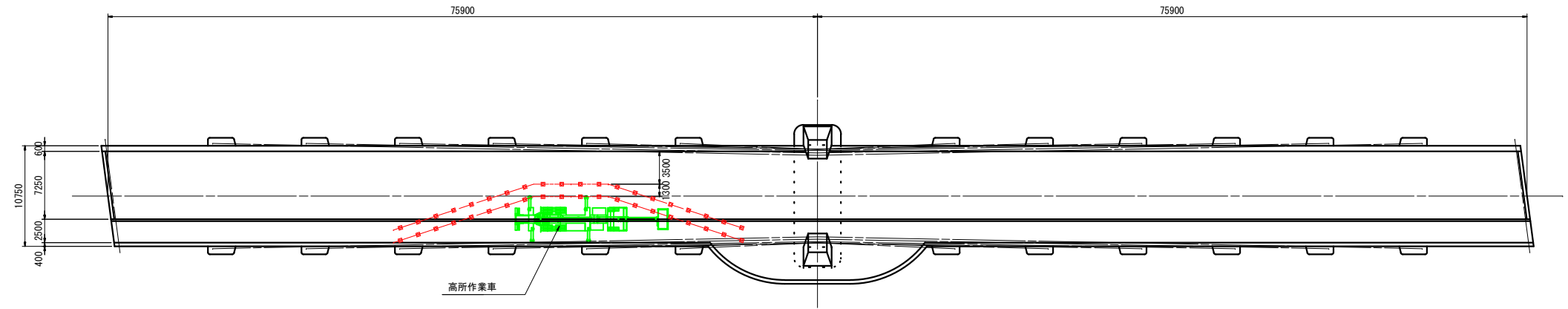
側面図 S=1:300



断面図 S=1:200



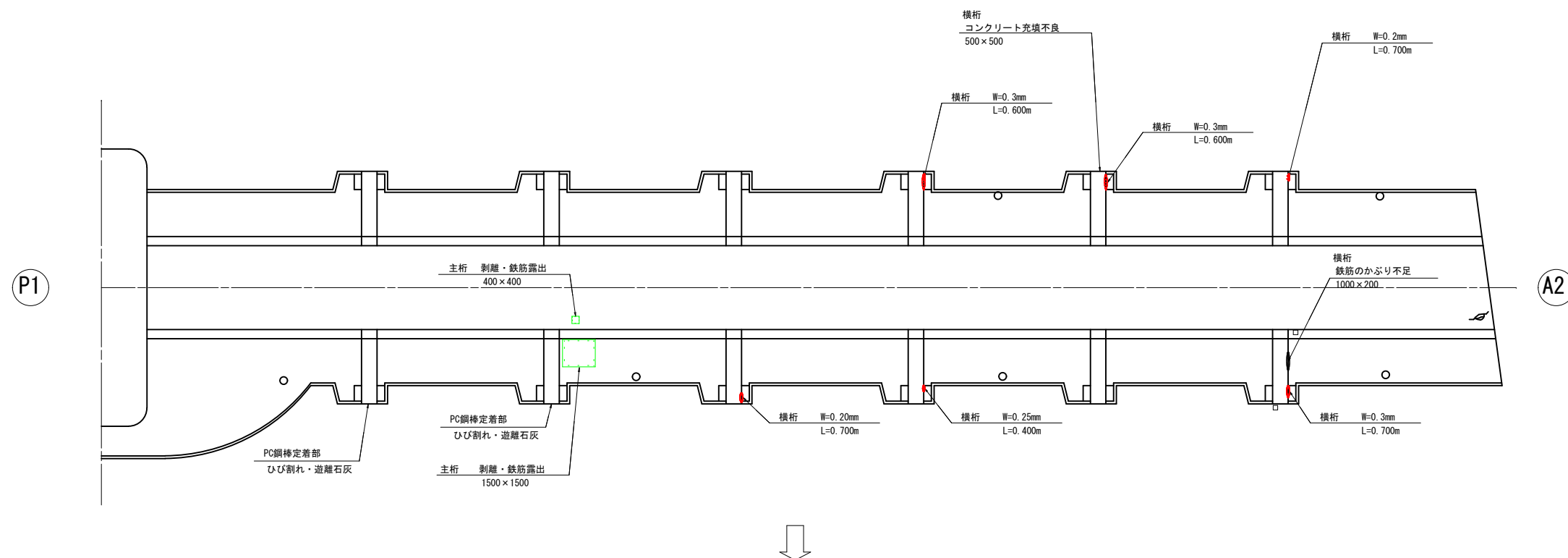
平面図 S=1:300



【斜材補修時(H=20m超え)】 実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事（借路負担行為）			
番 号	24 28	施工要領図(6) (高所作業車)	縮 尺 図 示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

S=1 : 150



令和7年度 道路メンテナンス事業				
平成債供出地域工事（債務負担行為）				
番号	25	28	外観整頓工（主柱下面）	縮尺 図示
市道赤岩野田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

平成橋 外観変状図(その2)

S=1:150

箱桁内部

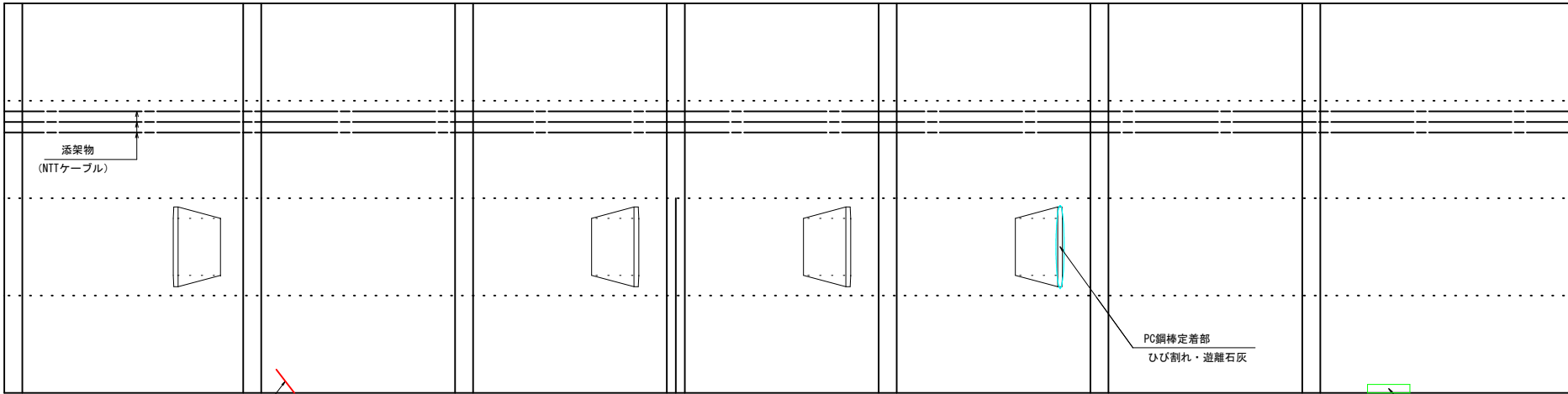
上 面

上流側側面

(A1)

下 面

下流側側面



主桁 W=0.2mm
L=0.600m



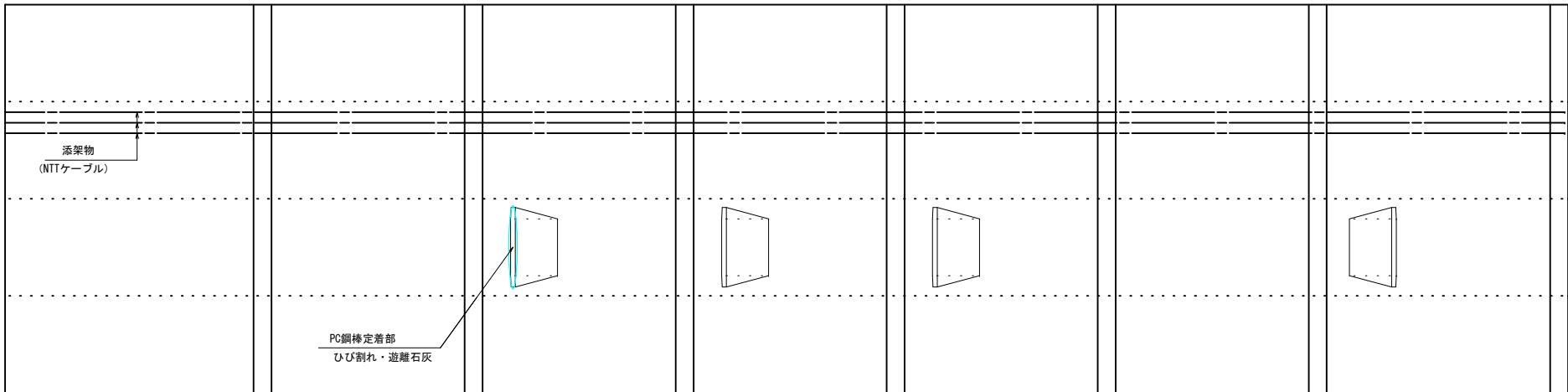
上 面

上流側側面

(P1)

下 面

下流側側面



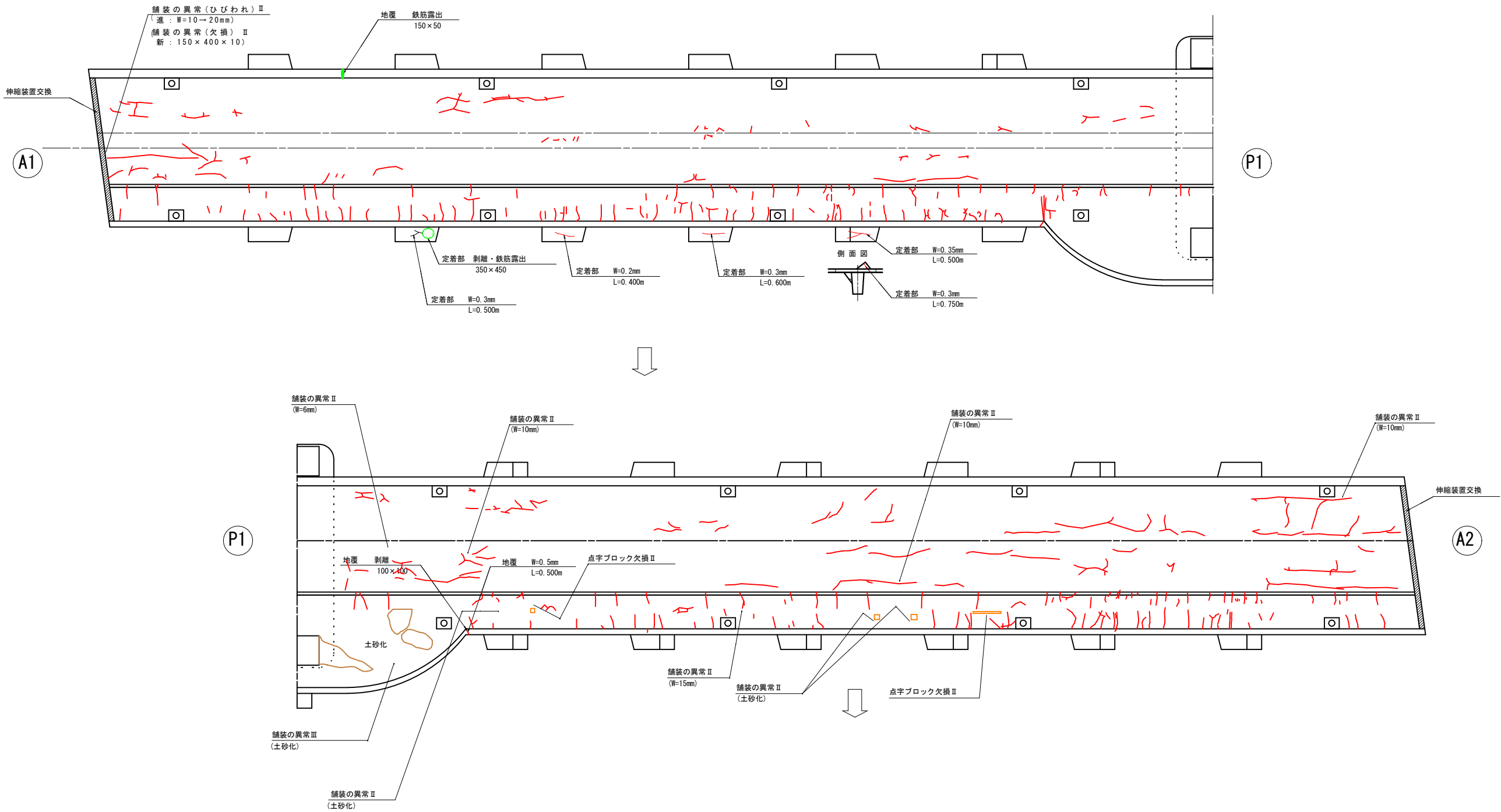
実 施 図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事（借路負担行為）			
番号	26 / 28	外観変状図（2） （箱桁内部）	縮尺 図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			

平成橋 外観変状図(その3)

S=1:150

路面



実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業				
平成橋橋梁補修工事（債務負担行為）				
番号	27 / 28	外観変状図（3） （路面）	縮尺	図示
市道赤岩壁田線				
中野市大字赤岩・笠原 平成橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
中野市役所				

平成橋 外観変状図(その4)

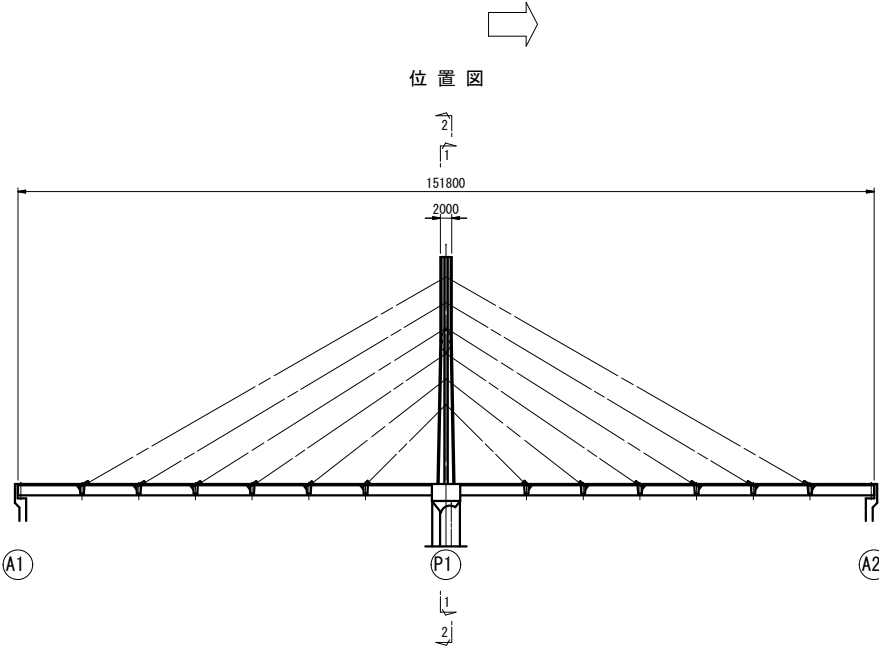
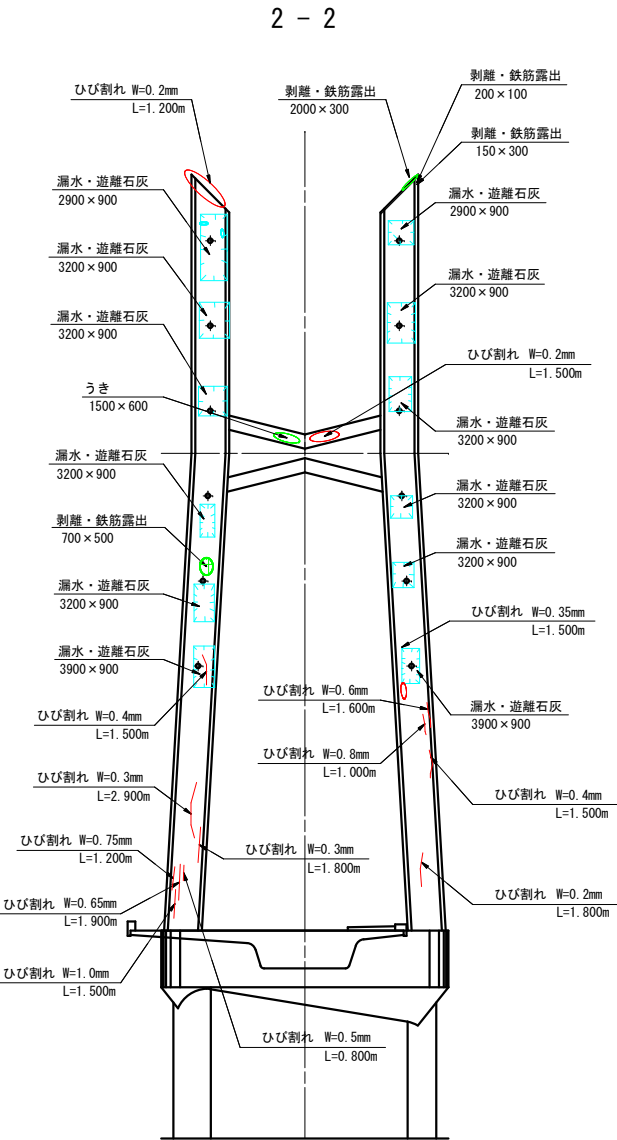
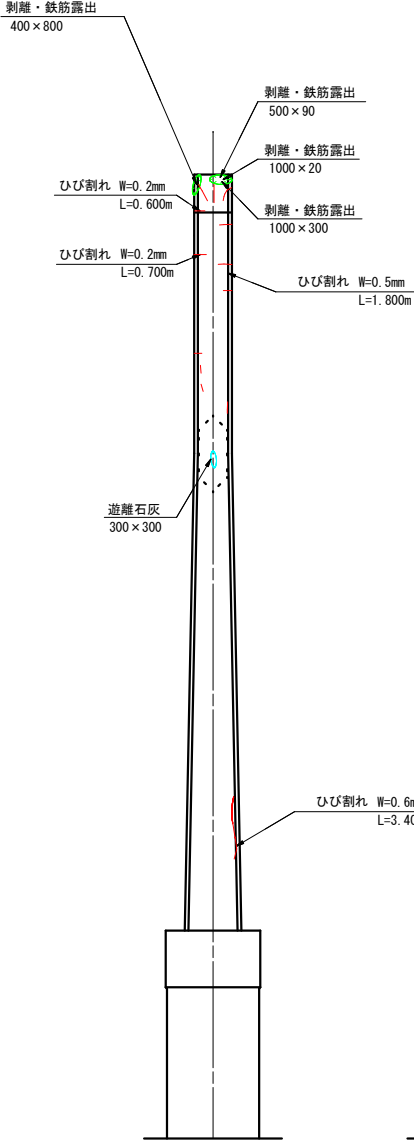
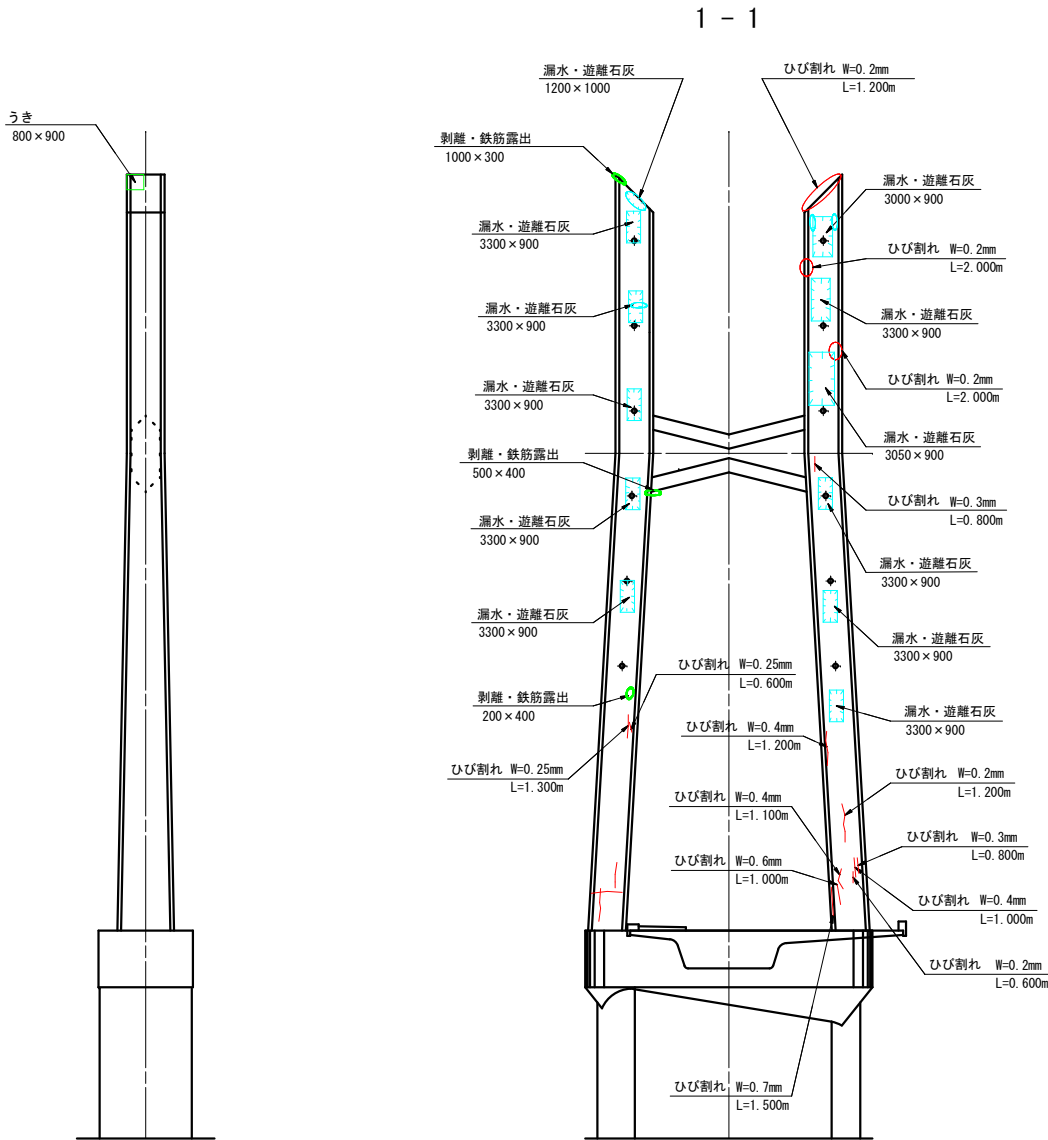
S=1:200

主塔

上流側

下流側

終点側



実施図

令和7年度 道路メンテナンス事業			
平成橋橋梁補修工事 (債務負担行為)			
番号	28 / 28	外観変状図 (4) (主塔)	縮尺 図示
市道赤岩壁田線			
中野市大字赤岩・笠原 平成橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
中野市役所			